

注3

大学番号：私018

[平成27年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

東北福祉大学 総合福祉学部 福祉行政学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人梅檀学園  
平成30年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 教務部

職名・氏名 キョウムフチョウ 教務部長 アベ ユウジ 阿部 裕二

電話番号 022-717-3315

（夜間） 022-717-3315

F A X 022-301-1280

e-mail yuji@tfu-mail.tfu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 総合福祉学部

### <福祉行政学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	24
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	25
5. 教員組織の状況	27
6. 留意事項等に対する履行状況等	59
7. その他全般的事項	60

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 梅檀学園

## (2) 大学名 東北福祉大学

## (3) 大学の位置

〒981-8522  
宮城県仙台市青葉区国見1丁目8番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	<del>(ヨジマ タイドウ)</del> 小島 泰道 <del>(平成24年11月)</del>	<del>(キミコウベ ケンシ)</del> 喜美候部 謙史 <del>(平成27年5月)</del>	平成27年4月末日をもって前理事長が辞任したため (27)
		(ヨコイ シンシ) 横井 真之 (平成29年2月)	平成29年2月16日をもって前理事長が辞任したため (29)
学長	<del>(ハギノ ヨウキ)</del> 萩野 浩基 <del>(平成6年7月)</del>	(オオタニ テツオ) 大谷 哲夫 (平成27年12月)	前学長が平成27年10月18日に死亡したため (28)
学部長	<del>(ワタナベ マコト)</del> 渡邊 誠 <del>(平成27年5月)</del>	(シオムラ キミコ) 塩村 公子 (平成29年4月)	任期が満了となったため (29)
学科長等	<del>(フクトミ テツヤ)</del> 福富 哲也 <del>(平成27年4月)</del>	<del>(コマツ ヨウキチ)</del> 小松 洋吉 <del>(平成28年4月)</del>	学内人事により設置時学科長が総務局長に就任したため (28)
		(アベ ユウジ) 阿部 裕二 (平成30年4月)	定年退職のため (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
総合福祉学部 福祉行政学科 学士(福祉行政学)	社会学・社会福祉学関係	年 4	人 100	年次 0人	人 400	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 100 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 100 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 100 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 100 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	1.16倍	
志願者数	482 ( - ) [ - ]	( ) ( - ) [ - ]	502 ( - ) [ - ]	( ) ( - ) [ - ]	531 ( - ) [ - ]	( ) ( - ) [ - ]	608 ( - ) [ - ]	( ) ( - ) [ - ]		
受験者数	474 ( - ) [ - ]	( ) ( - ) [ - ]	489 ( - ) [ - ]	( ) ( - ) [ - ]	525 ( - ) [ - ]	( ) ( - ) [ - ]	595 ( - ) [ - ]	( ) ( - ) [ - ]		
合格者数	256 ( - ) [ - ]	( ) ( - ) [ - ]	270 ( - ) [ - ]	( ) ( - ) [ - ]	241 ( - ) [ - ]	( ) ( - ) [ - ]	245 ( - ) [ - ]	( ) ( - ) [ - ]		
B 入学者数	116 ( - ) [ - ]	( ) ( - ) [ - ]	116 ( - ) [ - ]	( ) ( - ) [ - ]	118 ( - ) [ - ]	( ) ( - ) [ - ]	116 ( - ) [ - ]	( ) ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.16		1.16		1.18		1.16			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	116 [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( )	116 [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( )	118 [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( )	116 [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( )	
2年次	/		116 [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( )	114 [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( )	118 [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( )	
3年次	/		/		115 [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( )	114 [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( )	
4年次	/		/		/		113 [ - ] ( - )	[ ] [ ] ( )	
計	116 [ - ] ( - )		232 [ - ] ( - )		347 [ - ] ( - )		461 [ - ] ( - )		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	116 人	人	平成27年度	- 人	- 人	
平成28年度	232 人	2 人	平成27年度	- 人	人	
			平成28年度	2 人	- 人	通信教育部への転籍、進路変更
平成29年度	347 人	3 人	平成27年度	3 人	- 人	病気療養、進路変更、学内転科
			平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
平成30年度	461 人	0 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
合 計	1156 人	5 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{116} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{232} = \boxed{0.86} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{347} = \boxed{0.86} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{461} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<総合福祉学部 福祉行政学科>

### (1) ① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合基礎教育科目	リエゾンゼミⅠ(基礎演習)	1通	2			7	2	1				4
	禅のころ	1通	1									
	仏教入門(建学の精神・理念を含む)	1後		2								1
	哲学入門	1前・後		2								1
	倫理学入門	1後		2								1
	宗教学入門	1前		2								1
	文学入門	1前・後		2								1
	芸術入門	1後		2								1
	ことばと表現	1前・後		2								4
	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	1前	2									16
	英語Ⅱ	1後	2									16
	英語Ⅲ	2通	2									17
	実用英語A	2前		1								4
	実用英語B	2後		1								4
	実用英語C	2前		1								4
	実用英語D	2後		1								4
	実用英語E	2前		1								4
	実用英語F	2後		1								4
	ドイツ語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	1前	2									4
	ドイツ語Ⅱ	1後	2									4
	ドイツ語Ⅲ	2通	2									3
	実用ドイツ語A	2通	2									1
	実用ドイツ語B	2通	2									1
	ハンガール語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	1前	2									3
	ハンガール語Ⅱ	1後	2									3
	ハンガール語Ⅲ	2通	2									3
	実用ハンガール講座A	2通	2									1
	実用ハンガール講座B	2通	2									1
	中国語(コミュニケーションを含む)	1前	2									3
	中国語Ⅱ	1後	2									3
	中国語Ⅲ	2通	2									3
	実用中国語A	2通	2									1
	実用中国語B	2通	2									1
	日本語Ⅰ	1前	2									1
	日本語Ⅱ	1後	2									1
	日本語Ⅲ	2通	2									1
	実用日本語A	2通	2									1
	実用日本語B	2通	2									1
	グローバルコミュニケーションⅠ	1通	2									3
	グローバルコミュニケーションⅡ	2通	2									3
	異文化コミュニケーション	2前	2									1
	アジア共同体に向けて	1前	2			1						
	生物学の基礎	1前・後	2									2
	化学の基礎	1後	2									1
	物理学の基礎	1後	2									1
数学の基礎	1前	2									1	
統計学の基礎	1前・後	2									1	
心理学の基礎	1前・後	2									1	
地理学の基礎	1前・後	2									1	
現代社会を見る眼	1前	2									1	
現代福祉の基礎	1前・後	2									2	
法の基礎	1前	2			2							
政治学の基礎	1前	2									1	
経済学の基礎	1前・後	2			1		1				1	
社会学の基礎	1前・後	2									1	
歴史学の基礎	1前・後	2									3	
教育学の基礎	1前	2									1	

#### 【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎教育科目	リエゾンゼミⅠ(基礎演習)	1通	2			5	3	1	1		
	キャンパスライフ入門	1通	2				2				
	禅のころ	1通	1								6
	仏教入門(建学の精神・理念を含む)	1後		2							1
	哲学入門	1前・後		2							1
	倫理学入門	1後		2							1
	知的財産入門	1後		2		1					
	宗教学入門	1前		2							1
	文学入門	1前・後		2							1
	芸術入門	1後		2							1
	ことばと表現	1前・後		2							5
	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	1前	2								5
	英語Ⅱ	1後	2								5
	英語Ⅲ	2通	2								21
	実用英語A	2前		1							6
	実用英語B	2後		1							6
	実用英語C	2前		1							6
	実用英語D	2後		1							6
	実用英語E	2前		1							6
	実用英語F	2後		1							6
	ドイツ語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	1前	2								4
	ドイツ語Ⅱ	1後	2								4
	ドイツ語Ⅲ	2通	2								4
	実用ドイツ語A	2通	2								1
	実用ドイツ語B	2通	2								1
	ハンガール語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	1前	2								3
	ハンガール語Ⅱ	1後	2								3
	ハンガール語Ⅲ	2通	2								2
	実用ハンガール講座A	2通	2								1
	実用ハンガール講座B	2通	2								1
	中国語(コミュニケーションを含む)	1前	2								3
	中国語Ⅱ	1後	2								3
	中国語Ⅲ	2通	2								3
	実用中国語A	2通	2								1
	実用中国語B	2通	2								1
	日本語Ⅰ	1前	2								1
	日本語Ⅱ	1後	2								1
	日本語Ⅲ	2通	2								1
	実用日本語A	2通	2								1
	実用日本語B	2通	2								1
	グローバルコミュニケーションⅠ	1通	2								2
	グローバルコミュニケーションⅡ	2通	2								2
	異文化コミュニケーション	2前	2								1
	アジア共同体に向けて	1前	2					1	1		12
	生物学の基礎	1前・後	2								2
化学の基礎	1後	2								1	
物理学の基礎	1後	2								2	
天文学の基礎	1後	2								1	
数学の基礎	1前	2								1	
統計学の基礎	1前・後	2								2	
心理学の基礎	1前・後	2								3	
地理学の基礎	1前・後	2								1	
現代社会を見る眼	1前	2				1		1		2	
現代福祉の基礎	1前・後	2								2	
法の基礎	1前	2			2						
政治学の基礎	1前	2								1	
経済学の基礎	1前・後	2					1			1	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門基幹教育科目A群	行政法	2通	4			1				
	社会福祉の政策過程論	3前	2			1				3
	社会保障論	3通	4			1				
	地域福祉論	2通	4			1				
	社会保険論	3後	2			1				1
	地域減災論 I	2前	2							2
	公衆衛生学	2後	2							
	公的扶助論	3前	2			1				
	地方自治(地方財政を含む)	2前	2			1				
	財政学	3通	4				1			
就労支援サービス論	3前	1							1	
専門基幹教育科目B群	政治学原書講読	2通	4			1				
	国際関係論	2前	2							1
	国際協力論	3後	2							1
	国際政治論	3前・後	2							1
	マスコミュニケーション論	2前	2							1
	マクロ経済学	3通	4				1			
	ミクロ経済学	3通	4				1			
	日本経済論	2通	4							1
	会計学	2前	2							1
	民法総則	1通	4			1				
	労働法(労働組合法を含む)	2通	4			1				
	家族法	2通	4				1			1
	物権法	2通	4			1				
	債権法	2通	4			1				
商法	3後	2			1					
更生保護制度(刑法を含む)	3前	2				1				
専門基幹教育科目C群	災害概論	2通	4							1
	災害復興支援論	2通	4			1	1			6
	防災マネジメント論	2通	4							1
	原子力災害論	2前	2							1
	災害福祉論 I	2前	2							1
	災害福祉論 II	2前	2							1
関連科目(主専攻)	仏教学概論	2通	4							1
	日本仏教史	2後	2							1
	倫理学概論	2通	4							1
	日本史概説	2通	4							2
	日本思想史	3通	4							1
	東洋史概説	2前・後	2							1
	西洋史概説	2前・後	2							1
	人文地理学	2通	4							1
	自然地理学	2通	4							1
	地誌	2通	4							1
	リーダーシップ論	3前	2							1
	心理学概論	1後	2							2
	福祉心理学	1前・後	2							3
	福祉社会学	2前	2							3
	医学一般 I	2前・後	2							4
	福祉思想論	1前・後	2							3
	人権と現代福祉	3前	2							2
	介護論	2前	2							1
	保健医療サービス論	3後	2			1		1		3
	福祉経営論	3前・後	2							1
	社会福祉援助技術総論	1通	4							1
	社会福祉援助技術論 I	2通	4							2
	社会福祉援助技術論 II	3通	4							1
	社会福祉援助技術演習 I	2通	2			1				15
	社会福祉援助技術演習 II	3通	2			1				15
	社会福祉援助技術演習 III	4後	1			1				15
	社会福祉援助技術実習指導 I	3後	1			1				15
	社会福祉援助技術実習指導 II	4通	2			1				15
	社会福祉援助技術実習	4通	4			1				15
	障害者スポーツ指導法 I	1後	2							3
	障害者スポーツ指導法 II	2前	2							5
	障害者スポーツ指導法 III	2後	1							5
	ユニバーサルスポーツ	1前・後	2							4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門基幹教育科目A群	社会政策論	2通	4							1
	福祉計画法	2後	2							1
	地方自治法	3後	2							
	行政法	2通	4				1			
	社会福祉の政策過程論	3前	2							1
	社会保障論	3通	4				1			1
	地域福祉論	2通	4				1			
	社会保険論	3後	2							1
	地域減災論 I	2前	2							
	公衆衛生学	2後	2							
	公的扶助論	3前	2				1			
	地方自治(地方財政を含む)	2前	2							1
財政学	3通	4							1	
就労支援サービス論	3前	1								
専門基幹教育科目B群	政治学原書講読	2通	4							1
	国際関係論	2前	2							1
	国際協力論	3後	2							1
	国際政治論	3前・後	2							1
	マスコミュニケーション論	2前	2							1
	マクロ経済学	3通	4							1
	ミクロ経済学	3通	4							1
	日本経済論	2通	4							1
	会計学	2前	2							1
	民法総則	1通	4			1				
	労働法(労働組合法を含む)	2通	4			1				
	家族法	2通	4				1			1
	物権法	2通	4			1				
	債権法	2通	4			1				
商法	3後	2							1	
更生保護制度(刑法を含む)	3前	2				1				
専門基幹教育科目C群	災害概論	2通	4							1
	災害復興支援論	2通	4				1			5
	防災マネジメント論	2通	4							1
	原子力災害論	2前	2							1
	災害福祉論 I	2前	2							1
	災害福祉論 II	2前	2							1
関連科目(主専攻)	仏教学概論	2通	4							1
	日本仏教史	2後	2							1
	倫理学概論	2通	4							1
	日本史概説	2通	4							2
	日本思想史	3通	4							1
	東洋史概説	2前・後	2							1
	西洋史概説	2前・後	2							1
	人文地理学	2通	4							1
	自然地理学	2通	4							1
	地誌	2通	4							1
	リーダーシップ論	3前	2							1
	心理学概論	1後	2							2
	福祉心理学	1前・後	2							3
	福祉社会学	2前	2							3
	医学一般 I	2前・後	2							4
	福祉思想論	1前・後	2							3
	人権と現代福祉	3前	2							1
	介護論	2前	2							2
	保健医療サービス論	3後	2			1		1		3
	福祉経営論	3前・後	2							1
	社会福祉援助技術総論	1通	4							1
	社会福祉援助技術論 I	2通	4							2
	社会福祉援助技術論 II	3通	4							1
	社会福祉援助技術演習 I	2通	2			1				15
	社会福祉援助技術演習 II	3通	2			1				15
	社会福祉援助技術演習 III	4後	1			1				15
	社会福祉援助技術実習指導 I	3後	1			1				15
	社会福祉援助技術実習指導 II	4通	2			1				15
	社会福祉援助技術実習	4通	4			1				15
障害者スポーツ指導法 I	1後	2							3	
障害者スポーツ指導法 II	2前	2							5	
障害者スポーツ指導法 III	2後	1							5	
ユニバーサルスポーツ	1前・後	2							4	
実学臨床教育 I	1通	4							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連科目（副専攻）	特講(健康デザイン)	2通	4								1
	特講(死の考現学)	2前	2								1
	特講(社会福祉講座)	2後	2		1						
	表現基礎演習	1通	2								1
	色彩と心理	2後	2								1
	認知デザイン論	2前	2								1
	アニメーション論	2後	2								1
	表現応用演習	2通	2								1
	脚本・演出概論	3前	2								1
	映像論	3前	2								1
	映像制作論	3前・後	2								1
	シナリオ演習	3通	2								1
	アニメーション技法	3通	4								1
	アニメ制作実習Ⅰ	3通	4								1
アニメ制作実習Ⅱ	4通	4								1	
卒業制作	4通	4								1	
関連科目（副専攻）	福祉観光概論	1後	2		1						
	福祉観光とリスクマネジメント	2前	2		1						
	福祉観光と文化	1後	2								1
	ツーリズム論	1後	2								1
	観光地理Ⅰ	1後	2								1
	観光地理Ⅱ	2前	2								1
	旅行業法令	1前	2		1						
	旅行業務関連約款	1後	2		1						
	旅行業実務Ⅰ	1後	2								1
	旅行業実務Ⅱ	2前	2								1
	観光英語Ⅰ	1後	2								1
	観光英語Ⅱ	2前	2								1
	観光政策論	2前	2		1						
	マーケティング論	2通	2								1
救急処置法	2後	2								1	
関連科目（副専攻）	障害者スポーツ指導論	1後	2								3
	マスメディア論	2後	2								1
	ヒューマンデザイン論	2前・後	2								1
	スポーツ医科学	3通	4								1
	スポーツ運動学	3通	4								1
	スポーツ施設マネジメント	3前	2								1
	解剖生理学	2後	2								1
関連科目（副専攻）	臨床美術論Ⅰ	1前	2								1
	臨床美術論Ⅱ	1後	2								1
	臨床美術論Ⅲ	2前	2								1
	臨床美術論Ⅳ	2前	2								1
	陶芸制作Ⅰ	2前	2								1
	陶芸制作Ⅱ	2後	2								1
	陶芸制作Ⅲ	3前	2								1
	認知症介護論	2後	2								1
	認知症病態論	3後	2								1
	表現技術Ⅳ(美術)	2前・後	1								2
感性心理学	3後	2								1	
関連科目（副専攻）	社会貢献学入門	1前	2		1						
	社会貢献概論	2前	2								1
	NPO論	2前	2								1
	社会調査法(社会調査統計を含む)	2通	4		2						1
	地域減災論Ⅱ	3前	2		1						1
	減災学入門	1前	2								1
	防災行政学Ⅰ	2前	2								1
	災害解析基礎理論	2前	2								1
	建築の安全	3前	2								1
	地震工学	3前	2								1
	災害危機管理	3後	2								1
	地域の安全	3後	2								1
	減災学	3後	2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
関連科目（主専攻）	実学臨床教育Ⅱ	2通	4								1	
	実学臨床教育Ⅲ	3通	4								1	
	実学臨床教育Ⅳ	4通	2								1	
	障害者スポーツ指導法Ⅰ	1後	2								3	
	障害者スポーツ指導法Ⅱ	2前	2								5	
	障害者スポーツ指導法Ⅲ	2後	1								5	
	ユニバーサルスポーツ	1前・後	2								5	
	ビジネスの基本	1通	4								1	
	地域と仕事	1通	4								1	
	海・山・里イノベーションⅠ	1通	4								1	
	海・山・里イノベーションⅡ	2通	4								1	
	海・山・里イノベーションⅢ	3通	4								1	
	海・山・里イノベーションⅣ	4通	4								1	
	特講(睡眠健康科学)	2前	2								1	
特講(産業社会学)	2通	4								1		
特講(社会福祉講座Ⅰ)	3後	2			1							
特講(社会福祉講座Ⅱ)	3後	2			1							
関連科目（副専攻）	表現基礎演習	1通	2								1	
	色彩と心理	2後	2								1	
	認知デザイン論	2前	2								1	
	アニメーション論	2後	2								1	
	表現応用演習	2通	2								1	
	脚本・演出概論	3前	2								1	
	映像論	3前	2								1	
	映像制作論	3前・後	2								1	
	シナリオ演習	3通	2								1	
	アニメーション技法	3通	4								1	
	アニメ制作実習Ⅰ	3通	4								1	
	アニメ制作実習Ⅱ	4通	4								1	
	卒業制作	4通	4								1	
	関連科目（副専攻）	福祉観光概論	1後	2		1						
福祉観光とリスクマネジメント		2前	2		1							
福祉観光と文化		1後	2								1	
ツーリズム論		1後	2								1	
観光地理Ⅰ		1後	2		1							
観光地理Ⅱ		2前	2		1							
旅行業法令		1前	2		1							
旅行業務関連約款		1後	2		1							
旅行業実務Ⅰ		1後	2								1	
旅行業実務Ⅱ		2前	2								1	
観光英語Ⅰ		1後	2								1	
観光英語Ⅱ		2前	2								1	
観光政策論		2前	2		1							
マーケティング論		2通	2								1	
救急処置法	2後	2								1		
関連科目（副専攻）	障害者スポーツ指導論	1後	2								3	
	マスメディア論	2後	2								1	
	スポーツトレーニング理論と実践	1後	2								1	
	スポーツリーダーシップ論	2後	2								1	
	スポーツ施設管理論	2前	2								1	
	スポーツコーチング論	2後	2								1	
	スポーツリスクマネジメント論	1後	2								1	
	スポーツ運動学	3通	4								1	
	解剖生理学	2後	2								1	
	関連科目（副専攻）	臨床美術論Ⅰ	1前	2								1
		臨床美術論Ⅱ	1後	2								1
		臨床美術論Ⅲ	2前	2								1
		臨床美術論Ⅳ	2前	2								1
		陶芸制作Ⅰ	2前	2								1
陶芸制作Ⅱ		2後	2								1	
陶芸制作Ⅲ		3前	2								1	
認知症介護論	2後	2								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
関連科目（副専攻）	ボランティア活動論	2前	2			1						
	災害ボランティア学	3前	2									1
	環境ボランティア論	2後	2									1
	構造材料施工	3前	2									1
	地域住環境計画	3前	2									1
	環境政策ビジネス論	2後	2									1
	環境情報学	2前	2									1
	国際情勢論	2前	2									1
	国際協力論 I	2後	2									1
	開発教育学	2後	2									1
	社会貢献論 I	2前	2									1
	社会貢献論 II	2後	2									1
	減災・予防福祉演習 I	2通	2									1
	減災・予防福祉演習 II	3通	2									1
	減災・予防福祉演習 III	4通	2									1
	プロジェクト実習	2通	1									1
	関連科目（副専攻）	ソーシャルメディア論	2後	2								
ネットワークコミュニケーション論		2後	2									1
情報ネットワーク論		2前	2									1
情報社会学		1前	2									1
情報倫理	1後	2									1	
関連科目（副専攻）	人体構造・機能論	1通	4									4
	生理学	2前	2									1
	薬理学	2前・後	2									1
	病理学	2後	2									2
	生化学・栄養代謝学	1後	1									1
	臨床医学概論	1後	2									1
	臨床医学各論 I	2前	2									3
	臨床医学各論 II	2前	2									1
	臨床医学各論 III	2前	2									1
	臨床医学各論 IV	2前	2									2
	臨床医学各論 V	2後	2									2
	臨床医学各論 VI	2後	2									1
	臨床医学各論 VII	2後	2									1
	臨床医学各論 VIII	2前	2									2
	疾病治療論 IV (小児)	2後	1									2
	放射線医学	2後	2									1
	病院実習 I	3通	4									2
	病院実習 II	4通	4									2
	救急車搭乗実習	3後	2									2
	シミュレーション実習 I	1通	4									2
シミュレーション実習 II	2通	4									2	
シミュレーション実習 III	3通	4									2	
シミュレーション実習 IV	4通	4									2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
関連科目（副専攻）	認知症病態論	3後	2									1
	表現技術 IV (美術)	2前・後	1									1
	感性心理学	3後	2									1
	社会貢献学入門	1前	2									1
	社会貢献概論	2前	2									1
	NPO論	2前	2									1
	社会調査法 (社会調査統計を含む)	2通	4			1						1
	地域減災論 II	3前	2									1
	減災学入門	1前	2									1
	防災行政学 I	2前	2									1
	災害解析基礎理論	2前	2									1
	建築の安全	3前	2									1
	地震工学	3前	2									1
	災害危機管理	3後	2									1
	地域の安全	3後	2									1
	減災学	3後	2									1
	関連科目（副専攻）	ボランティア活動論	2前	2								
災害ボランティア学		3前	2									1
環境ボランティア論		2後	2									1
構造材料施工		3前	2									1
地域住環境計画		3前	2									1
環境政策ビジネス論		2後	2									1
環境情報学		2前	2									1
国際情勢論		2前	2									1
国際協力論 I		2後	2									1
開発教育学		2後	2									1
社会貢献論 I		2前	2									1
社会貢献論 II		2後	2									1
減災・予防福祉演習 I		2通	2									1
減災・予防福祉演習 II		3通	2									1
減災・予防福祉演習 III		4通	2									1
プロジェクト実習		2通	1									1
関連科目（副専攻）		ソーシャルメディア論	2後	2								
	ネットワークコミュニケーション論	2後	2									1
	情報ネットワーク論	2前	2									1
	情報ネットワーク基礎実習	2通	2									1
	情報社会学	1前	2									1
	情報倫理	1後	2									1
	インフォメーションデザイン論	2前	2									1
	情報セキュリティ管理論	3前	2									1
	特講 (コンプライアンス)	2後	2									1
	人体構造・機能論	1通	4									3
関連科目（副専攻）	生理学	2前	2									2
	薬理学	2前・後	2									2
	病理学	2後	2									1
	生化学・栄養代謝学	1後	1									1
	臨床医学概論	1後	2									1
	臨床医学各論 I	2前	2									1
	臨床医学各論 II	2前	2									1
	臨床医学各論 III	2前	2									1
	臨床医学各論 IV	2前	2									2
	臨床医学各論 V	2後	2									2
	臨床医学各論 VI	2後	2									1
	臨床医学各論 VII	2後	2									1
	臨床医学各論 VIII	2前	2									3
	救急医学総論	2前	2									1
	疾病治療論 IV (小児)	2後	1									2
	放射線医学	2後	2									1
	病院実習 I	3通	4									3
	病院実習 II	4通	4									2
	救急車搭乗実習	3後	2									1
	シミュレーション実習 I	1通	4									2
シミュレーション実習 II	2通	4									2	
シミュレーション実習 III	3通	4									3	
シミュレーション実習 IV	4通	4									2	

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
総合基礎教育科目	リエゾンゼミⅠ(基礎演習)	1通	2			7	2	1			5
	禪のこころ	1前	1								1
	仏教入門(建学の精神・理念を含む)	1前・後	2								1
	哲学入門	1前	2								1
	倫理学入門	1前	2								1
	宗教学入門	1前	2								1
	文学入門	1前・後	2								1
	芸術入門	1後	2								1
	ことばと表現	1前・後	2								4
	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	1前	2								20
	英語Ⅱ	1後	2								20
	英語Ⅲ	2通	2								17
	実用英語A	2前		1							4
	実用英語B	2後		1							4
	実用英語C	2前		1							4
	実用英語D	2後		1							4
	実用英語E	2前		1							4
	実用英語F	2後		1							4
	ドイツ語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	1前		1							4
	ドイツ語Ⅱ	1後		2							4
	ドイツ語Ⅲ	2通		2							3
	実用ドイツ語A	2通		2							1
	実用ドイツ語B	2通		2							1
	ハンガール語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	1前		2							3
	ハンガール語Ⅱ	1後		2							3
	ハンガール語Ⅲ	2通		2							3
	実用ハンガール講座A	2通		2							1
	実用ハンガール講座B	2通		2							1
	中国語(コミュニケーションを含む)	1前		2							3
	中国語Ⅱ	1後		2							3
	中国語Ⅲ	2通		2							3
	実用中国語A	2通		2							1
	実用中国語B	2通		2							1
	日本語Ⅰ	1前		2							1
	日本語Ⅱ	1後		2							1
	日本語Ⅲ	2通		2							1
	実用日本語A	2通		2							1
	実用日本語B	2通		2							1
	グローバルコミュニケーションⅠ	1通		2							2
	グローバルコミュニケーションⅡ	2通		2							3
	異文化コミュニケーション	2前		2							1
	アジア共同体に向けて	1前		2		1					6
	生物学の基礎	1前・後		2							2
	化学の基礎	1後		2							1
	物理学の基礎	1前		2							1
	天文学の基礎	1前		2							1
	数学の基礎	1前		2							1
	統計学の基礎	1前・後		2							1
	心理学の基礎	1前・後		2							3
	地理学の基礎	1前・後		2							1
	現代社会を見る眼	1前		2							1
	現代福祉の基礎	1前・後	2								2
	法の基礎	1前		2		2					1
	政治学の基礎	1前		2							1
	経済学の基礎	1前・後	2			1		1			1
社会学の基礎	1前・後		2							1	
歴史学の基礎	1前・後		2							3	
教育学の基礎	1前		2							2	

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
総合基礎教育科目	リエゾンゼミⅠ(基礎演習)	1通	2			7	2	1			5
	禪のこころ	1前	1								1
	仏教入門(建学の精神・理念を含む)	1前・後	2								1
	哲学入門	1前	2								1
	倫理学入門	1前	2								1
	知的財産入門	1後	2		1						1
	宗教学入門	1前	2								1
	文学入門	1前・後	2								1
	芸術入門	1後	2								1
	ことばと表現	1前・後	2								3
	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	1前	2								21
	英語Ⅱ	1後	2								21
	英語Ⅲ	2通	2								22
	実用英語A	2前		1							6
	実用英語B	2後		1							6
	実用英語C	2前		1							6
	実用英語D	2後		1							6
	実用英語E	2前		1							4
	実用英語F	2後		1							4
	ドイツ語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	1前		2							4
	ドイツ語Ⅱ	1後		2							4
	ドイツ語Ⅲ	2通		2							3
	実用ドイツ語A	2通		2							1
	実用ドイツ語B	2通		2							1
	ハンガール語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	1前		2							3
	ハンガール語Ⅱ	1後		2							3
	ハンガール語Ⅲ	2通		2							3
	実用ハンガール講座A	2通		2							1
	実用ハンガール講座B	2通		2							1
	中国語(コミュニケーションを含む)	1前		2							3
	中国語Ⅱ	1後		2							3
	中国語Ⅲ	2通		2							3
	実用中国語A	2通		2							1
	実用中国語B	2通		2							1
	日本語Ⅰ	1前		2							1
	日本語Ⅱ	1後		2							1
	日本語Ⅲ	2通		2							1
	実用日本語A	2通		2							1
	実用日本語B	2通		2							1
	グローバルコミュニケーションⅠ	1通		2							2
	グローバルコミュニケーションⅡ	2通		2							2
	異文化コミュニケーション	2前		2							1
	アジア共同体に向けて	1前		2		1					6
	生物学の基礎	1前・後		2							2
	化学の基礎	1後		2							1
	物理学の基礎	1前		2							1
	天文学の基礎	1後		2							1
	数学の基礎	1前		2							1
	統計学の基礎	1前・後		2							2
	心理学の基礎	1前・後		2							3
	地理学の基礎	1前・後		2							2
	現代社会を見る眼	1前		2							1
	現代福祉の基礎	1前・後	2								2
	法の基礎	1前		2		2					1
	政治学の基礎	1前		2							1
経済学の基礎	1前・後	2			1		1			1	
社会学の基礎	1前・後		2							1	
歴史学の基礎	1前・後		2							3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
総合基礎教育科目	情報処理論	1前・後	2							2
	情報処理実習	1通	2							7
	情報処理応用実習	1通	2							2
	キャリアデザインⅠ	1前	2		1	1	1			12
	キャリアデザインⅡ	2前	2							7
	キャリアデザインⅢ	3前	2							3
	インターンシップⅠ	2通	4		2	2	1			11
	インターンシップⅡ	3通	4		2	2	1			11
	Study AbroadA(アジア)	1通	1			1				2
	Study AbroadB(北米)	1通	1							2
	Study AbroadC(オセアニア)	1通	1							2
	Study AbroadD(ヨーロッパ)	1通	1							2
	Study AbroadE(その他の地域)	1通	1							1
	リスクと社会	1後	2							1
	災害と社会	1後	2							1
	情報と社会	1後	2		1	1				2
	ボランティア論	1前・後	2							1
	福祉ボランティア活動Ⅰ(地域貢献活動を含む)	1通	1		1					
	福祉ボランティア活動Ⅱ(地域貢献活動を含む)	2通	1		1					
	福祉ボランティア活動Ⅲ(地域貢献活動を含む)	3通	1		1					
福祉ボランティア活動Ⅳ(地域貢献活動を含む)	4通	1		1						
スポーツⅠ	1通	2							14	
スポーツⅡ	2前	1							3	
スポーツⅢ	3前	1							2	
健康科学	1後	2							11	
食と生活	1後	2							1	
生涯スポーツ論	1前・後	2							3	
レクリエーション論	1後	2							1	
スポーツ社会学	2前	2							1	
スポーツの心理学	2前	2							1	
スポーツ医学	2前	2							1	
専門基礎教育科目	社会福祉原論(職業指導を含む)	2通	4							2
	福祉法学	1通	4		1	1				3
	高齢者福祉論	1通	4							4
	児童・家庭福祉論	1通	4							3
	障害者福祉論	1通	4							3
	国際福祉論	2後	2							1
	社会調査の基礎	2後	2							1
	医療概論	1通	4							9
	精神医学	2通	4							2
	日本国憲法	1前・後	2			1				
	行政学	2後	2			1				
	公共マネジメント論	2通	4							1
	政治学原論(国際政治を含む)	2通	4		1					1
	経済原論(国際政治を含む)	2通	4		1		1			3
	社会学原論	2通	4							1
	東北の地域課題	1後	2							1
応用数学Ⅰ	2通	4							1	
応用数学Ⅱ	3通	4							1	
専門基礎教育科目L・G群	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2通	2			7	2	1		
	リエゾンゼミⅢ(福祉行政演習Ⅰ)	3通	2			7	2	1		
	リエゾンゼミⅣ(福祉行政演習Ⅱ)	4通	2			7	2	1		
	地域マネジメント論	2前	2							1
	地域活性化マネジメント論	2前	2							11
	地域共生福祉論	2後	2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
総合基礎教育科目	教育学の基礎	1前	2							2
	情報処理論	1前・後	2							2
	情報処理実習	1通	2							7
	情報処理応用実習	1通	2							2
	キャリアデザインⅠ	1前	2		1	1	1			12
	キャリアデザインⅡ	2前	2							6
	キャリアデザインⅢ	3前	2							3
	インターンシップⅠ	2通	4		2	2	1			11
	インターンシップⅡ	3通	4		2	2	1			11
	Study AbroadA(アジア)	1通	1				1			2
	Study AbroadB(北米)	1通	1							2
	Study AbroadC(オセアニア)	1通	1							2
	Study AbroadD(ヨーロッパ)	1通	1							2
	Study AbroadE(その他の地域)	1通	1							1
	リスクと社会	1後	2							1
	災害と社会	1後	2							1
	情報と社会	1後	2		1	1				2
	ボランティア論	1前・後	2							1
	福祉ボランティア活動Ⅰ(地域貢献活動を含む)	1通	1		1					
	福祉ボランティア活動Ⅱ(地域貢献活動を含む)	2通	1		1					
福祉ボランティア活動Ⅲ(地域貢献活動を含む)	3通	1		1						
福祉ボランティア活動Ⅳ(地域貢献活動を含む)	4通	1		1						
スポーツⅠ	1通	2							14	
スポーツⅡ	2前	1							3	
スポーツⅢ	3前	1							2	
健康科学	1後	2							10	
食と生活	1後	2							1	
生涯スポーツ論	1前・後	2							3	
レクリエーション論	1後	2							1	
スポーツ社会学	2前	2							1	
スポーツの心理学	2前	2							1	
スポーツ医学	2前	2							1	
専門基礎教育科目	社会福祉原論(職業指導を含む)	2通	4							2
	福祉法学	1通	4		1	1				3
	高齢者福祉論	1通	4							4
	児童・家庭福祉論	1通	4							3
	障害者福祉論	1通	4							3
	国際福祉論	2後	2							1
	社会調査の基礎	2後	2							1
	医療概論	1通	4							9
	精神医学	2通	4							2
	日本国憲法	1前・後	2			1				
	行政学	2後	2			1				
	公共マネジメント論	2通	4							1
	政治学原論(国際政治を含む)	2通	4		1					1
	経済原論(国際政治を含む)	2通	4		1		1			1
	社会学原論	2通	4							3
	東北の地域課題	1後	2							1
応用数学Ⅰ	2通	4							1	
応用数学Ⅱ	3通	4							1	
専門基礎教育科目L・G群	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2通	2			7	2	1		
	リエゾンゼミⅢ(福祉行政演習Ⅰ)	3通	2			7	2	1		
	リエゾンゼミⅣ(福祉行政演習Ⅱ)	4通	2			7	2	1		
	地域マネジメント論	2前	2							1
	地域活性化マネジメント論	2前	2							13

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門基幹教育科目L・C群	地域共生実学教育Ⅰ	1通	4							1	
	地域共生実学教育Ⅱ	2通	4							1	
	地域共生実学教育Ⅲ	3通	4							1	
	地域共生実学教育Ⅳ	4通	4							1	
	卒業論文	4通	4			7	2	1			1
専門基幹教育科目A群	福祉行政総論	2通	4			3	2	1			1
	福祉行政各論	3後	2								1
	社会福祉行政財政論	2前・後	2				1				1
	社会政策論	2通	4								1
	福祉計画法	2後	2								1
	地方自治法	3後	2				1				
	行政法	2通	4				1				
	社会福祉の政策過程論	3前	2			1					
	社会保障論	3通	4			1					
	地域福祉論	2通	4			1					3
	社会保険論	3後	2			1					
	地域減災論Ⅰ	2前	2								1
	公衆衛生学	2後	2								2
	公的扶助論	3前	2			1					
	地方自治(地方財政を含む)	2前	2			1					
財政学	3通	4					1				
就労支援サービス論	3前	1								1	
専門基幹教育科目B群	政治学原書講読	2通	4			1					
	国際関係論	2前	2								1
	国際協力論	3後	2								1
	国際政治論	3前・後	2								1
	マスコミュニケーション論	2前	2								1
	マクロ経済学	3通	4				1				
	ミクロ経済学	3通	4				1				
	日本経済論	2通	4								1
	会計学	2前	2								1
	民法総則	1通	4			1					
	労働法(労働組合法を含む)	2通	4			1					
	家族法	2通	4				1				1
	物権法	2通	4			1					
	債権法	2通	4			1					
	商法	3後	2			1					
更生保護制度(刑法を含む)	3前	2				1					
専門基幹教育科目C群	災害概論	2通	4								1
	災害復興支援論	2通	4			1	1				6
	防災マネジメント論	2通	4								1
	原子力災害論	2前	2								1
	災害福祉論Ⅰ	2前	2								1
	災害福祉論Ⅱ	2前	2								1
関連科目(主専攻)	仏教学概論	2通	4								1
	日本仏教史	2後	2								1
	倫理学概論	2通	4								1
	日本史概説	2通	4								2
	日本思想史	3通	4								1
	東洋史概説	2前・後	2								1
	西洋史概説	2前・後	2								1
	人文地理学	2通	4								1
	自然地理学	2通	4								1
	地誌	2通	4								1
	リーダーシップ論	3前	2								1
	心理学概論	1前・後	2								2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門基幹教育科目L・C群	地域共生福祉論	2後	2								1
	地域共生実学教育Ⅰ	1通	4								5
	地域共生実学教育Ⅱ	2通	4								7
	地域共生実学教育Ⅲ	3通	4								1
	地域共生実学教育Ⅳ	4通	4								1
	卒業論文	4通	4			7	2	1			
専門基幹教育科目A群	福祉行政総論	2通	4			3	2	1			2
	福祉行政各論	3後	2								1
	社会福祉行政財政論	2前・後	2				1				2
	社会政策論	2通	4						1		1
	福祉計画法	2後	2								1
	地方自治法	3後	2						1		
	行政法	2通	4					1			
	社会福祉の政策過程論	3前	2			1					
	社会保障論	3通	4			1					
	地域福祉論	2通	4			1					3
	社会保険論	2通	4			1					
	地域減災論Ⅰ	3後	2			1					
	公衆衛生学	2前	2								9
	公的扶助論	2後	2								2
	地方自治(地方財政を含む)	3前	2			1					
財政学	3通	4					1				
就労支援サービス論	3前	1							1		
専門基幹教育科目B群	政治学原書講読	2通	4								1
	国際関係論	2前	2								1
	国際協力論	3後	2								1
	国際政治論	3前・後	2								1
	マスコミュニケーション論	2前	2								1
	マクロ経済学	3通	4						1		
	ミクロ経済学	3通	4						1		
	日本経済論	2通	4								1
	会計学	2前	2								1
	民法総則	1通	4			1					
	労働法(労働組合法を含む)	2通	4			1					
	家族法	2通	4				1				1
	物権法	2通	4			1					
	債権法	2通	4			1					
	商法	3後	2			1					
更生保護制度(刑法を含む)	3前	2				1					
専門基幹教育科目C群	災害概論	2通	4								1
	災害復興支援論	2通	4			1	1				6
	防災マネジメント論	2通	4								1
	原子力災害論	2前	2								1
	災害福祉論Ⅰ	2前	2								1
	災害福祉論Ⅱ	2前	2								1
関連科目(主専攻)	仏教学概論	2通	4								1
	日本仏教史	2後	2								1
	倫理学概論	2通	4								1
	日本史概説	2通	4								2
	日本思想史	3通	4								1
	東洋史概説	2前・後	2								1
	西洋史概説	2前・後	2								1
	人文地理学	2通	4								1
	自然地理学	2通	4								1
	地誌	2通	4								1
	リーダーシップ論	3前	2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連科目（主専攻）	福祉心理学	1前・後	2								3
	福祉社会学	2前	2								3
	医学一般 I	2前・後	2								4
	福祉思想論	1前・後	2								3
	人権と現代福祉	3前	2								2
	介護論	2前	2								1
	保健医療サービス論	3後	2		1		1				
	福祉経営論	3前・後	2								1
	社会福祉援助技術総論	1通	4								1
	社会福祉援助技術論 I	2通	4								2
	社会福祉援助技術論 II	3通	4								1
	社会福祉援助技術演習 I	2通	2		1						15
	社会福祉援助技術演習 II	3通	2		1						15
	社会福祉援助技術演習 III	4後	1		1						15
	社会福祉援助技術実習指導 I	3後	1		1						15
	社会福祉援助技術実習指導 II	4通	2		1						15
	社会福祉援助技術実習	4通	4		1						15
	障害者スポーツ指導法 I	1後	2		2						3
	障害者スポーツ指導法 II	2前	2		2						5
	障害者スポーツ指導法 III	2後	1		2						5
	ユニバーサルスポーツ	1前・後	2		2						4
	特講(健康デザイン)	2通	4		2						1
	特講(死の考現学)	2前	2		2						1
特講(社会福祉講座)	2後	2		2		1					
関連科目（副専攻）	表現基礎演習	1通	2								1
	色彩と心理	2後	2								1
	認知デザイン論	2前	2								1
	アニメーション論	2後	2								1
	表現応用演習	2通	2								1
	脚本・演出概論	3前	2								1
	映像論	3前	2								1
	映像制作論	3前・後	2								1
	シナリオ演習	3通	2								1
	アニメーション技法	3通	4								1
	アニメ制作実習 I	3通	4								1
	アニメ制作実習 II	4通	4								1
	卒業制作	4通	4								1
関連科目（副専攻）	福祉観光概論	1後	2		1						
	福祉観光とリスクマネジメント	2前	2		1						
	福祉観光と文化	1後	2								1
	ツーリズム論	1後	2								1
	観光地理 I	1後	2								1
	観光地理 II	2前	2								1
	旅行業法令	1前	2		1						
	旅行業務関連約款	1後	2		1						
	旅行業実務 I	1前	2								1
	旅行業実務 II	1後	2								1
	観光英語 I	1後	2								1
	観光英語 II	2前	2								1
	観光政策論	2前	2		1						
マーケティング論	2通	2								1	
救急処置法	2後	2								1	
関連科目（副専攻）	障害者スポーツ指導論	1後	2								3
	マスメディア論	2後	2								1
	ヒューマンデザイン論	2前・後	2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
関連科目（主専攻）	心理学概論	1前・後	2								2
	福祉心理学	1前・後	2								3
	福祉社会学	2前	2								3
	医学一般 I	2前・後	2								4
	福祉思想論	1前・後	2								3
	人権と現代福祉	3前	2								1
	介護論	2前	2								1
	保健医療サービス論	3後	2		1		1				
	福祉経営論	3前・後	2								1
	社会福祉援助技術総論	1通	4								1
	社会福祉援助技術論 I	2通	4								2
	社会福祉援助技術論 II	3通	4								1
	社会福祉援助技術演習 I	2通	2		1						15
	社会福祉援助技術演習 II	3通	2		1						15
	社会福祉援助技術演習 III	4後	1		1						15
	社会福祉援助技術実習指導 I	3後	1		1						15
	社会福祉援助技術実習指導 II	4通	2		1						15
	社会福祉援助技術実習	4通	4		1						15
	障害者スポーツ指導法 I	1後	2		2						3
	障害者スポーツ指導法 II	2前	2		2						5
	障害者スポーツ指導法 III	2後	1		2						5
	ユニバーサルスポーツ	1前・後	2		2						4
	特講(健康デザイン)	2通	4		2						1
特講(死の考現学 I)	2前	2		2						1	
特講(死の考現学 II)	2後	2		2						1	
特講(社会福祉講座)	3後	2		2						1	
関連科目（副専攻）	表現基礎演習	1通	2								1
	色彩と心理	2後	2								1
	認知デザイン論	2前	2								1
	アニメーション論	2後	2								1
	表現応用演習	2通	2								1
	脚本・演出概論	3前	2								1
	映像論	3前	2								1
	映像制作論	3前・後	2								1
	シナリオ演習	3通	2								1
	アニメーション技法	3通	4								1
	アニメ制作実習 I	3通	4								1
	アニメ制作実習 II	4通	4								1
	卒業制作	4通	4								1
関連科目（副専攻）	福祉観光概論	1後	2		1						
	福祉観光とリスクマネジメント	2前	2		1						
	福祉観光と文化	1後	2								1
	ツーリズム論	1後	2								1
	観光地理 I	1後	2								1
	観光地理 II	2前	2								1
	旅行業法令	1前	2		1						
	旅行業務関連約款	1後	2		1						
	旅行業実務 I	1前	2								1
	旅行業実務 II	1後	2								1
	観光英語 I	1後	2								1
	観光英語 II	2前	2								1
	観光政策論	2前	2		1						
マーケティング論	2通	2								1	
救急処置法	2後	2								1	
障害者スポーツ指導論	1後	2								3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
関連科目（副専攻）	スポーツ医科学	3通	4								1	
	スポーツ運動学	3通	4								1	
	スポーツ施設マネジメント	3前	2								1	
	解剖生理学	2後	2								1	
関連科目（副専攻）	臨床美術論Ⅰ	1前	2								1	
	臨床美術論Ⅱ	1後	2								1	
	臨床美術論Ⅲ	2前	2								1	
	臨床美術論Ⅳ	2前	2								1	
	陶芸制作Ⅰ	2前	2								1	
	陶芸制作Ⅱ	2後	2								1	
	陶芸制作Ⅲ	3前	2								1	
	認知症介護論	2後	2								1	
	認知症病態論	3後	2								1	
	表現技術Ⅳ(美術)	2前・後	1								2	
	感性心理学	3後	2								1	
	関連科目（副専攻）	社会貢献学入門	1前	2		2						3
		社会貢献概論	2前	2								1
NPO論		2前	2								1	
社会調査法(社会調査統計を含む)		2通	4		2						1	
地域防災論Ⅱ		3前	2		1						1	
防災学入門		1前	2								1	
防災行政学Ⅰ		2前	2								1	
災害解析基礎理論		2前	2								1	
建築の安全		3前	2								1	
地震工学		3前	2								1	
災害危機管理		3後	2								1	
地域の安全		3後	2								1	
減災学		3後	2								1	
ボランティア活動論		2前	2		1						1	
災害ボランティア学		3前	2								1	
環境ボランティア論		2後	2								1	
構造材料施工		3前	2								1	
地域住環境計画		3前	2								1	
環境政策ビジネス論		2後	2								1	
環境情報学		2前	2								1	
国際情勢論		2前	2								1	
国際協力論Ⅰ		2後	2								1	
開発教育学		2後	2								1	
社会貢献論Ⅰ	2前	2								1		
社会貢献論Ⅱ	2後	2								1		
減災・予防福祉演習Ⅰ	2通	2								1		
減災・予防福祉演習Ⅱ	3通	2								1		
減災・予防福祉演習Ⅲ	4通	2								1		
プロジェクト実習	2通	1								1		
関連科目（副専攻）	ソーシャルメディア論	2後	2								1	
	ネットワーキングコミュニケーション論	2後	2								1	
	情報ネットワーク論	2前	2								1	
	情報社会学	1前	2								1	
関連科目（副専攻）	情報倫理	1後	2								1	
	人体構造・機能論	1通	4								4	
	生理学	2前	2								1	
	薬理学	2前・後	2								1	
	病理学	2後	2								2	
	生化学・栄養代謝学	1前	1								1	
	臨床医学概論	1後	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
連科目（副専攻）	マスメディア論	2後	2								1	
	ヒューマンデザイン論	2前・後	2								1	
	スポーツ医科学	3通	4								1	
	スポーツ運動学	3通	4								1	
	スポーツ施設マネジメント	3前	2								1	
	解剖生理学	2後	2								1	
	関連科目（副専攻）	臨床美術論Ⅰ	1前	2								1
		臨床美術論Ⅱ	1後	2								1
		臨床美術論Ⅲ	2前	2								1
		臨床美術論Ⅳ	2前	2								1
陶芸制作Ⅰ		2前	2								1	
陶芸制作Ⅱ		2後	2								1	
陶芸制作Ⅲ		3前	2								1	
認知症介護論		2後	2								1	
認知症病態論		3後	2								1	
表現技術Ⅳ(美術)		2前・後	1								2	
感性心理学	3後	2								1		
関連科目（副専攻）	社会貢献学入門	1前	2		2						3	
	社会貢献概論	2前	2								1	
	NPO論	2前	2								1	
	社会調査法(社会調査統計を含む)	2通	4		2						1	
	地域防災論Ⅱ	3前	2								1	
	防災学入門	1前	2								1	
	防災行政学Ⅰ	2前	2								1	
	災害解析基礎理論	2前	2								1	
	建築の安全	3前	2								1	
	地震工学	3前	2								1	
	災害危機管理	3後	2								1	
	地域の安全	3後	2								1	
	減災学	3後	2								1	
	ボランティア活動論	2前	2								1	
	災害ボランティア学	3前	2								1	
	環境ボランティア論	2後	2								1	
	構造材料施工	3前	2								1	
	地域住環境計画	3前	2								1	
	環境政策ビジネス論	2後	2								1	
	環境情報学	2前	2								1	
	国際情勢論	2前	2								1	
	国際協力論Ⅰ	2後	2								1	
	開発教育学	2後	2								1	
社会貢献論Ⅰ	2前	2								1		
社会貢献論Ⅱ	2後	2								1		
減災・予防福祉演習Ⅰ	2通	2								1		
減災・予防福祉演習Ⅱ	3通	2								1		
減災・予防福祉演習Ⅲ	4通	2								1		
プロジェクト実習	2通	1								1		
関連科目（副専攻）	ソーシャルメディア論	2後	2								1	
	ネットワーキングコミュニケーション論	2後	2								1	
	情報ネットワーク論	2前	2								1	
	情報社会学	1前	2								1	
	情報倫理	1後	2								1	
	人体構造・機能論	1通	4								4	
	生理学	2前	2								1	
	薬理学	2前・後	2								1	
	病理学	2後	2								2	
	生化学・栄養代謝学	1前	1								1	
臨床医学概論	1後	2								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	臨床医学各論Ⅰ	2前		2								3
	臨床医学各論Ⅱ	2前		2								1
	臨床医学各論Ⅲ	2前		2								1
	臨床医学各論Ⅳ	2前		2								2
	臨床医学各論Ⅴ	2後		2								2
	臨床医学各論Ⅵ	2後		2								1
	臨床医学各論Ⅶ	2後		2								1
	臨床医学各論Ⅷ	2前		2								2
	<b>救急医学総論</b>	<b>2前</b>		<b>2</b>								<b>1</b>
	疾病治療論Ⅳ(小児)	2後		1								2
	放射線医学	2後		2								1
	病院実習Ⅰ	3通		4								2
	病院実習Ⅱ	4通		4								2
	救急車搭乗実習	3後		2								2
	シミュレーション実習Ⅰ	1通		4								2
	シミュレーション実習Ⅱ	2通		4								2
	シミュレーション実習Ⅲ	3通		4								2
	シミュレーション実習Ⅳ	4通		4								2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	人体構造・機能論	1通		4								3
	生理学	2前		2								2
	薬理学	2前・後		2								1
	病理学	2後		2								3
	生化学・栄養代謝学	1前		1								1
	臨床医学概論	1後		2								1
	臨床医学各論Ⅰ	2前		2								1
	臨床医学各論Ⅱ	2前		2								1
	臨床医学各論Ⅲ	2前		2								1
	臨床医学各論Ⅳ	2前		2								2
	臨床医学各論Ⅴ	2後		2								2
	臨床医学各論Ⅵ	2後		2								1
	臨床医学各論Ⅶ	2後		2								1
	臨床医学各論Ⅷ	2前		2								3
	<b>救急医学総論</b>	<b>2前</b>		<b>2</b>								<b>1</b>
	疾病治療論Ⅳ(小児)	2後		1								2
	放射線医学	2後		2								1
	病院実習Ⅰ	3通		4								2
	病院実習Ⅱ	4通		4								2
	救急車搭乗実習	3後		2								2
	シミュレーション実習Ⅰ	1通		4								2
	シミュレーション実習Ⅱ	2通		4								2
	シミュレーション実習Ⅲ	3通		4								2
	シミュレーション実習Ⅳ	4通		4								2

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
総合基礎教育科目	リエゾンゼミⅠ(基礎演習)	1通	2			7	3				
	キャンパスライフ入門	1通	2			1	1				
	禅のこころ	1通	1								5
	仏教入門(建学の精神・理念を含む)	1前		2							1
	哲学入門	1前・後		2							1
	倫理学入門	1後		2							1
	知的財産入門	1後		2		1					
	宗教学入門	1前		2							1
	文学入門	1前・後		2							1
	芸術入門	1後		2							1
	ことばと表現	1前・後		2							2
	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	1前	2								21
	英語Ⅱ	1後	2								21
	英語Ⅲ	2通	2								22
	実用英語A	2前		1							6
	実用英語B	2後		1							6
	実用英語C	2前		1							6
	実用英語D	2後		1							6
	実用英語E	2前		1							4
	実用英語F	2後		1							4
	ドイツ語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	1前	2								4
	ドイツ語Ⅱ	1後	2								4
	ドイツ語Ⅲ	2通	2								3
	実用ドイツ語A	2通	2								1
	実用ドイツ語B	2通	2								1
	ハンガール語Ⅰ(コミュニケーションを含む)	1前	2								3
	ハンガール語Ⅱ	1後	2								3
	ハンガール語Ⅲ	2通	2								3
	実用ハンガール講座A	2通	2								1
	実用ハンガール講座B	2通	2								1
	中国語(コミュニケーションを含む)	1前	2								3
	中国語Ⅱ	1後	2								3
中国語Ⅲ	2通	2								3	
実用中国語A	2通	2								1	
実用中国語B	2通	2								1	
日本語Ⅰ	1前	2								1	
日本語Ⅱ	1後	2								1	
日本語Ⅲ	2通	2								1	
実用日本語A	2通	2								1	
実用日本語B	2通	2								1	
グローバルコミュニケーションⅠ	1通	2								2	
グローバルコミュニケーションⅡ	2通	2								2	
異文化コミュニケーション	2前	2								1	
アジア共同体に向けて	1前	2			1	1				15	
生物学の基礎	1前・後		2							2	
化学の基礎	1後		2							1	
物理学の基礎	1後		2							2	
天文学の基礎	1後		2							1	
数学の基礎	1前		2							1	
統計学の基礎	1前・後		2							2	
心理学の基礎	1前・後		2							3	
地理学の基礎	1前・後		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合基礎教育科目	現代社会を見る眼	1前		2								1
	現代福祉の基礎	1前・後		2								2
	法の基礎	1前		2		2						
	政治学の基礎	1前		2								1
	経済学の基礎	1前・後		2		1	1					1
	社会学の基礎	1前・後		2								1
	歴史学の基礎	1前・後		2								2
	教育学の基礎	1前		2								2
	情報処理論	1前・後		2								2
	情報処理実習	1通		2								6
	情報処理応用実習	1通		2								2
	キャリアデザインⅠ	1前		2		2	2					12
	キャリアデザインⅡ	2前		2								4
	キャリアデザインⅢ	3前		2								3
	インターンシップⅠ	2通		4		2	3					18
	インターンシップⅡ	3通		4		2	3					20
	Study AbroadA(アジア)	1通		1			1					2
	Study AbroadB(北米)	1通		1								1
	Study AbroadC(オセアニア)	1通		1								3
	Study AbroadD(ヨーロッパ)	1通		1								4
	Study AbroadE(その他の地域)	1通		1								1
	リスクと社会	1後		2								1
	災害と社会	1後		2								1
	情報と社会	1後		2		1	1					3
	ボランティア論	1前・後		2								1
	福祉ボランティア活動Ⅰ(地域貢献活動を含む)	1通		1		1						
	福祉ボランティア活動Ⅱ(地域貢献活動を含む)	2通		1		1						
	福祉ボランティア活動Ⅲ(地域貢献活動を含む)	3通		1		1						
	福祉ボランティア活動Ⅳ(地域貢献活動を含む)	4通		1		1						
	スポーツⅠ	1通		2								14
スポーツⅡ	2前		1								3	
スポーツⅢ	3前		1								2	
健康科学	1後		2								2	
食と生活	1後		2								1	
生涯スポーツ論	1前・後		2								3	
レクリエーション論	1後		2								1	
スポーツ社会学	2前		2								1	
スポーツの心理学	2前		2								1	
スポーツ医学	2前		2								3	
専門基礎教育科目	社会福祉原論(職業指導を含む)	2通	4									2
	福祉法学	1通	4			1	1					
	高齢者福祉論	1通	4									3
	児童・家庭福祉論	1通	4									4
	障害者福祉論	1通	4									3
	国際福祉論	2後	2									1
	社会調査の基礎	2後	2									1
	医療概論	1通	4									9
	精神医学	2通	4									2
	日本国憲法	1前・後	2			1						
	行政学	2後	2				1					
	公共マネジメント論	2通	4									7
	政治学原論(国際政治を含む)	2通	4			1						1
	経済学原論(国際政治を含む)	2通	4			1	1					1
	社会学原論	2通	4									3
	東北の地域課題	1後	2									3
	応用数学Ⅰ	2通	4									1
応用数学Ⅱ	3通	4									1	
専門基礎教育科目シ・C群	リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習)	2通	2			7	3					
	リエゾンゼミⅢ(福祉行政演習Ⅰ)	3通	2			7	3					
	リエゾンゼミⅣ(福祉行政演習Ⅱ)	4通	2			7	3					
	地域マネジメント論	2前	2									1
	地域活性化マネジメント論	2前	2									14

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
	地域共生福祉論	2後		2							1
	地域共生実学教育Ⅰ	1通		4							5
	地域共生実学教育Ⅱ	2通		4							6
	地域共生実学教育Ⅲ	3通		4							6
	地域共生実学教育Ⅳ	4通		4							1
	卒業論文	4通		4		7	3				
専門基幹教育科目A群	福祉行政総論	2通	4			3	3				2
	福祉行政各論	3後	2								1
	社会福祉行政財論	2前・後		2			1				2
	社会政策論	2通		4							1
	福祉計画法	2後		2							1
	地方自治法	3後		2			1				
	行政法	2通		4			1				
	社会福祉の政策過程論	3前		2		1					
	社会保障論	3通		4		1					
	地域福祉論	2通		4		1					3
	社会保険論	3後		2		1					
	地域減災論Ⅰ	2前		2							10
	公衆衛生学	2後		2							2
	公的扶助論	3前		2		1					
	地方自治(地方財政を含む)	2前		2			1				
財政学	3通		4			1					
就労支援サービス	3前		1							1	
専門基幹教育科目B群	政治学原書講読	2通		4		1					1
	国際関係論	2前		2							1
	国際協力論	3後		2							1
	国際政治論	3前・後		2							1
	マスコミュニケーション論	2前		2							1
	マクロ経済学	3通		4			1				
	ミクロ経済学	3通		4			1				
	日本経済論	2通		4							1
	会计学	2前		2							1
	民法総則	1通		4		1					
	労働法(労働組合法を含む)	2通		4		1					
	家族法	2通		4			1				1
	物権法	2通		4		1					
	債権法	2通		4		1					
	商法	3後		2		1					
更生保護制度(刑法を含む)	3前		2			1					
専門基幹教育科目C群	災害概論	2通		4							1
	災害復興支援論	2通		4		1	1				6
	防災マネジメント論	2通		4							1
	原子力災害論	2前		2							1
	災害福祉論Ⅰ	2前		2							1
	災害福祉論Ⅱ	2前		2							1
関連科目(主専攻)	仏教学概論	2通		4							1
	日本仏教史	2後		2							1
	倫理学概論	2通		4							1
	日本史概説	2通		4							2
	日本思想史	3通		4							1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
関 連 科 目 ( 主 専 攻 )	東洋史概説	2前・後		2								1
	西洋史概説	2前・後		2								1
	人文地理学	2通		4								1
	自然地理学	2通		4								1
	地誌	2通		4								1
	リーダーシップ論	3前		2								1
	心理学概論	1後		2								2
	福祉心理学	1前・後		2								3
	福祉社会学	2前		2								3
	医学一般 I	2前・後		2								4
	福祉思想論	1前・後		2								3
	人権と現代福祉 介護論	3前 2前		2 2								1 2
	保健医療サービス論	3後		2		1	1					
	福祉経営論	3前・後		2								1
	社会福祉援助技術総論	1通		4								1
	社会福祉援助技術論 I	2通		4								2
	社会福祉援助技術論 II	3通		4								1
	社会福祉援助技術演習 I	2通		2		1						15
	社会福祉援助技術演習 II	3通		2		1						18
	社会福祉援助技術演習 III	4後		1		1						17
	社会福祉援助技術実習指導 I	3後		1		1						16
	社会福祉援助技術実習指導 II	4通		2		1						15
	社会福祉援助技術実習	4通		4		1						16
	実学臨床教育 I	1通		4								1
	実学臨床教育 II	2通		4								1
	実学臨床教育 III	3通		4								1
	実学臨床教育 IV	4通		2								1
	障害者スポーツ指導法 I	1後		2								3
	障害者スポーツ指導法 II	2前		2								5
	障害者スポーツ指導法 III	2後		1								5
	ユニバーサルスポーツ	1前・後		2								4
	海・山・里イノベーション I	1通		4								1
	海・山・里イノベーション II	2通		4								1
海・山・里イノベーション III	3通		4								1	
海・山・里イノベーション IV	4通		4								1	
特講(睡眠健康科学)	2前		2								1	
特講(産業社会学)	2通		4								1	
特講(社会福祉講座 I)	3後		2		1							
特講(社会福祉講座 II)	3後		2		1							
関 連 科 目 ( 副 専 攻 )	表現基礎演習	1通		2								1
	色彩と心理	2後		2								1
	認知デザイン論	2前		2								1
	アニメーション論	2後		2								1
	表現応用演習	2通		2								1
	脚本・演出概論	3前		2								1
	映像論	3前		2								1
	映像制作論	3前・後		2								1
	シナリオ演習	3通		2								1
	アニメーション技法	3通		4								1
	アニメ制作実習 I	3通		4								1
	アニメ制作実習 II	4通		4								1
卒業制作	4通		4								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
関連科目（副専攻）	福祉観光概論	1後	2			1						
	福祉観光とリスクマネジメント	2前	2			1						
	福祉観光と文化	1後	2								1	
	ツーリズム論	1後	2								1	
	観光地理Ⅰ	1後	2								1	
	観光地理Ⅱ	2前	2								1	
	旅行業法令	1前	2			1						
	旅行業務関連約款	1後	2			1						
	旅行業実務Ⅰ	1後	2								1	
	旅行業実務Ⅱ	2前	2								1	
	観光英語Ⅰ	1後	2								1	
	観光英語Ⅱ	2前	2								1	
	観光政策論	2前	2			1						
	マーケティング論	2通	2									1
救急処置法	2後	2									1	
関連科目（副専攻）	障害者スポーツ指導論	1後	2									1
	マスメディア論	2後	2									1
	ヒューマンデザイン論	2前・後	2									1
	スポーツ医科学	3通	4									1
	スポーツ運動学	3通	4									1
	スポーツ施設マネジメント論	3前	2									1
解剖生理学	2後	2									1	
関連科目（副専攻）	臨床美術論Ⅰ	1前	2									1
	臨床美術論Ⅱ	1後	2									1
	臨床美術論Ⅲ	2前	2									1
	臨床美術論Ⅳ	2前	2									1
	陶芸制作Ⅰ	2前	2								1	
	陶芸制作Ⅱ	2後	2								1	
	陶芸制作Ⅲ	3前	2								1	
	認知症介護論	2後	2									1
	認知症病態論	3後	2									1
	表現技術Ⅳ(美術)	2前・後	1									2
感性心理学	3後	2									1	
関連科目（副専攻）	社会貢献学入門	1前	2			2						3
	社会貢献概論	2前	2									1
	NPO論	2前	2									1
	社会調査法(社会調査統計を含む)	2通	4			2						1
	地域減災論Ⅱ	3前	2									1
	減災学入門	1前	2									1
	防災行政学Ⅰ	2前	2									1
	災害解析基礎理論	2前	2									1
	建築の安全	3前	2									1
	地震工学	3前	2									1
	災害危機管理	3後	2									1
	地域の安全	3後	2									1
	減災学	3後	2									1
	ボランティア活動論	2前	2									1
	災害ボランティア学	3前	2									1
	環境ボランティア論	2後	2									1
	構造材料施工	3前	2									1
	地域住環境計画	3前	2									1
	環境政策ビジネス論	2後	2									1
	環境情報学	2前	2									1
国際情勢論	2前	2									1	
国際協力論Ⅰ	2後	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
関連科目 (副専攻)	開発教育学	2後		2								1
	社会貢献論Ⅰ	2前		2								1
	社会貢献論Ⅱ	2後		2								1
	減災・予防福祉演習Ⅰ	2通		2								1
	減災・予防福祉演習Ⅱ	3通		2								1
	減災・予防福祉演習Ⅲ	4通		2								1
	プロジェクト実習	2通		1								1
関連科目 (副専攻)	ソーシャルメディア論	2後		2								1
	ネットワークコミュニケーション論	2後		2								1
	情報ネットワーク論	2前		2								1
	情報ネットワーク基礎実習	2通		2								1
	情報社会学	1前		2								1
	情報倫理	1後		2								1
	インフォメーションデザイン論	2前		2								1
	情報セキュリティ管理論	3前		2								1
特講(コンプライアンス)	2後		2		1							
関連科目 (副専攻)	人体構造・機能論	1通		4								3
	生理学	2前		2								2
	薬理学	2前・後		2								2
	病理学	2後		2								2
	生化学・栄養代謝学	1後		1								1
	臨床医学概論	1後		2								1
	臨床医学各論Ⅰ	2前		2								1
	臨床医学各論Ⅱ	2前		2								1
	臨床医学各論Ⅲ	2前		2								1
	臨床医学各論Ⅳ	2前		2								2
	臨床医学各論Ⅴ	2後		2								2
	臨床医学各論Ⅵ	2後		2								1
	臨床医学各論Ⅶ	2後		2								1
	臨床医学各論Ⅷ	2前		2								3
	救急医学総論	2前		2								1
	疾病治療論Ⅳ(小児)	2後		1								2
	放射線医学	2後		2								1
	病院実習Ⅰ	3通		4								3
	病院実習Ⅱ	4通		4								2
	救急車搭乗実習	3後		2								1
シミュレーション実習Ⅰ	1通		4								2	
シミュレーション実習Ⅱ	2通		4								2	
シミュレーション実習Ⅲ	3通		4								3	
シミュレーション実習Ⅳ	4通		4								2	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

省 略

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
16 科目	279 科目	0 科目	295 科目	17 科目 [ 1 ]	299 科目 [ 20 ]	0 科目 [ ]	316 科目 [ 21 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	特講（健康デザイン論）	4	2通	専門（関連）	選択	担当教員（兼任教員）の退職のため。代替措置として「特講（睡眠健康科学）」を配置。 <sup>29</sup>
2	特講（死の考現学Ⅰ）	4	2前	専門（関連）	選択	担当教員（兼任教員）の科目削減のため。代替措置として「特講（産業社会学）」を配置。 <sup>29</sup> 副専攻の教育課程の見直しのため。これらの科目を廃止し、新たに「スポーツレーニング理論と実践」「スポーツリーダーシップ論」「スポーツ施設管理論」「スポーツコーチング論」「スポーツリスクマネジメント論」を設置した <sup>30</sup>
3	特講（死の考現学Ⅱ）	2	2前	専門（関連）	選択	
4	ヒューマンデザイン論	2	2前・後	副専攻	選択	
5	スポーツ医科学	4	3通	副専攻	選択	
6	スポーツ施設マネジメント論	2	3前	副専攻	選択	

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止された3科目については、代替措置としての科目を配置した。これらの内容については、在校生に関しては前年度末のガイダンスにおいて周知した。また、新入生に関しては、年度初めの教務部ガイダンスにおいて周知済みである。これらにより、教育に支障はないと考えている。<sup>29</sup>  
 副専攻の教育課程の変更により、3科目を廃止（変更）し、5科目を追加したため、学生の教育に不利益は生じていない。また、周知法法に関しては、年度初めのガイダンス等において周知済である。<sup>30</sup>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{6}{295} = \boxed{2.03} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借上面積：8,580.69㎡ 借用期間：30年	
	校舎敷地	133,520.690㎡ 135,464.250㎡ 137,710.020㎡ 140,416.350㎡	0㎡	0㎡	133,520.690㎡ 135,464.250㎡ 137,710.020㎡ 140,416.350㎡		
	運動場用地	139,184.820㎡ 139,826.140㎡ 139,505.480㎡	0㎡	0㎡	139,184.820㎡ 139,826.140㎡ 139,505.480㎡		
	小 計	272,705.510㎡ 275,290.390㎡ 277,215.500㎡ 279,921.830㎡	0㎡	0㎡	272,705.510㎡ 275,290.390㎡ 277,215.500㎡ 279,921.830㎡		
	そ の 他	2,312.627.755㎡ 2,314,527.760㎡ 2,314,116.020㎡ 2,316,286.470㎡	0㎡	0㎡	2,312,627.755㎡ 2,314,527.760㎡ 2,314,116.020㎡ 2,316,286.470㎡		
	合 計	2,585,333.265㎡ 2,589,818.150㎡ 2,591,311.620㎡ 2,596,208.300㎡	0㎡	0㎡	2,585,333.265㎡ 2,589,818.150㎡ 2,591,311.620㎡ 2,596,208.300㎡		校地・校舎取得のため(27)
(2) 校 舎	専 用	49,807.063㎡ 60,168.235㎡ (49,807.063㎡) 60,168.235㎡	2,213,175㎡ 3,385.575㎡ (2,213,175㎡) 3,385.575㎡	748,452㎡ 452.890㎡ (748,452㎡) 452.890㎡	52,768.690㎡ 64,006.700㎡ (52,768.690㎡) 64,006.700㎡	東北福祉看護学校(通信制看護師養成)と共用 収容定員500人 ※面積基準なし 校地・校舎取得のため(27)	
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
(3) 教 室 等	49室 78室	30室 37室	39室 40室	6室 (補助職員0人)	5室 (補助職員0人)	大学全体 校地・校舎取得のため(27)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員の追加のため(30)	
	総合福祉学部 福祉行政学科			10 11 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
	総合福祉学部 福祉行政学科	1,150 [151] (230 [30]) 260 (562 [31]) 965-75	5 [2] (5 [2]) (7 [2])	3 [3] (3 [3]) (1,100 [1,100])	100 (20) 66 100	400 (100)	- (-)
	計	1,150 [151] (230 [30]) 260 562 [31] 965-75	5 [2] 7 [2] (5 [2]) (7 [2])	3 [3] (3 [3]) (1,100 [1,100])	100 (20) 66 100	400 (100)	- (-)
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	4,205,026 ㎡	599 席		399,861冊			
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	9,666.801㎡	ゴルフ練習場1面 野球場2面		テニスコート3面 弓道場1面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員1人当り研究費等	320千円	320千円	図書購入費	1,200千円	1,200千円	1,200千円
	共同研究費等	1,000千円	2,500千円	設備購入費	100千円	1,00千円	1,00千円
	学生1人当り 納付金	第1年次 1144千円	第2年次 1044千円	第3年次 1044千円	第4年次 1044千円	第5年次 千円	第6年次 千円
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	東北福祉大学大学院							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院・通学課程									
総合福祉学研究科		33	—	69		0.36		宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘六丁目149番1号	
社会福祉学専攻博士課程	3	3	—	9	博士 (社会福祉学)	0.66	平成14年度	同上	
社会福祉学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (社会福祉学)	0.40	昭和51年度	同上	
福祉心理学専攻修士課程	2	20	—	40	修士 (福祉心理学)	0.27	平成14年度	同上	
教育学研究科									
教育学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (教育学)	0.15	平成27年度	同上	
大学院・通信制									
総合福祉学研究科	2	20	—	40		1.00		宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘六丁目149番1号	
社会福祉学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (社会福祉学)	1.85	平成14年度	同上	
福祉心理学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (福祉心理学)	0.15	平成14年度	同上	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
学部・通学課程									
総合福祉学部	4	620	—	2480		1.15		宮城県仙台市青葉区国見一丁目8番1号	
社会福祉学科	4	400	—	1600	学士 (社会福祉学)	1.15	昭和37年度	同上	平成27年度より100名の定員増
福祉行政学科	4	100	—	400	学士 (福祉行政学)	1.16	平成27年度	同上	
福祉心理学科	4	120	—	480	学士 (福祉心理学)	1.18	昭和49年度	同上	
社会教育学科	4	—	—	—	学士 (社会教育学)	—	昭和46年度	同上	平成27年より学生募集停止
総合マネジメント学部	4	200	—	800		1.12	平成20年度	同上	
産業福祉マネジメント学科	4	100	—	400	学士 (産業福祉学)	1.14	平成20年度	同上	
情報福祉マネジメント学科	4	100	—	400	学士 (情報福祉学)	1.10	平成20年度	同上	
子ども科学部		—	—	—		—			
子ども教育学科	4	—	—	—	学士 (教育学)	—	平成18年度	同上	平成27年より学生募集停止
教育学部						1.12			
教育学科	4	250	—	1000	学士 (教育学)	1.12	平成27年度	同上	
初等教育専攻	4	210	—	840	学士 (教育学)	1.12	平成27年度	同上	
中等教育専攻	4	40	—	160	学士 (教育学)	1.15	平成27年度	同上	

健康科学部	4	230	—	920		1.13		
保健看護学科	4	70	—	280	学士 (看護学)	1.14	平成18年度	同上
リハビリテーション学科	4	80	—	320	学士 (リハビリテーション学)	1.18	平成20年度	同上
理学療法学専攻	4	40	—	160	学士 (リハビリテーション学)	1.24	平成20年度	同上
作業療法学専攻	4	40	—	160	学士 (リハビリテーション学)	1.13	平成20年度	同上
医療経営管理学科	4	80	—	320	学士 (医療経営管理学)	1.08	平成20年度	同上
学部・通信教育部								
総合福祉学部	4	800	—	3200		0.71	平成14年度	仙台市宮城野区榴岡二丁目5番26号
社会福祉学科	4	600	—	2400	学士 (社会福祉学)	0.73	平成14年度	同上
福祉心理学科	4	200	—	800	学士 (福祉心理学)	0.63	平成14年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	福祉行政総論 経済学の基礎 経済原論(国際経済を含む) マクロ経済学 ミクロ経済学 財政学 保健医療サービス論 キャリアデザインⅠ インターンシップⅠ インターンシップⅡ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(福祉行政演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(福祉行政演習Ⅱ) 卒業論文	専	講師	福祉行政総論 経済学の基礎 経済原論(国際経済を含む) マクロ経済学 ミクロ経済学 財政学 保健医療サービス論 キャリアデザインⅠ インターンシップⅠ インターンシップⅡ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(福祉行政演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(福祉行政演習Ⅱ) 卒業論文	専	講師	福祉行政総論 経済学の基礎 経済原論(国際経済を含む) マクロ経済学 ミクロ経済学 財政学 保健医療サービス論 キャリアデザインⅠ インターンシップⅠ インターンシップⅡ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(福祉行政演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(福祉行政演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	福祉行政総論 経済学の基礎 経済原論(国際経済を含む) マクロ経済学 ミクロ経済学 財政学 保健医療サービス論 キャリアデザインⅠ インターンシップⅠ インターンシップⅡ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(福祉行政演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(福祉行政演習Ⅱ) 卒業論文	専	准教授	福祉行政総論 経済学の基礎 経済原論(国際経済を含む) マクロ経済学 ミクロ経済学 財政学 保健医療サービス論 キャリアデザインⅠ インターンシップⅠ インターンシップⅡ リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(福祉行政演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(福祉行政演習Ⅱ) 卒業論文 応用数学Ⅱ キャンパスライフ入門
												専	講師	リエゾンゼミⅠ(基礎演習) リエゾンゼミⅡ(専門基礎演習) リエゾンゼミⅢ(福祉行政演習Ⅰ) リエゾンゼミⅣ(福祉行政演習Ⅱ) 福祉行政総論 社会福祉行政論 政治学原書講読 社会福祉の政策過程論 Study Abroad A (アジア) 現代社会を見る眼 アジア共同体に向けて
												専	助教	リエゾンゼミⅠ(基礎演習) 福祉法学 日本国憲法 家族法
												兼任	教授	医学一般Ⅰ
兼任	教授	福祉社会学 福祉思想論 国際福祉論	兼任	教授	福祉社会学 福祉思想論 国際福祉論	兼任	教授	福祉社会学 福祉思想論 国際福祉論	兼任	教授	福祉社会学 福祉思想論 国際福祉論 アジア共同体に向けて	兼任	教授	福祉社会学 福祉思想論 国際福祉論 アジア共同体に向けて
兼任	教授	生物学の基礎 障害者福祉論 障害者スポーツ指導法Ⅲ 解剖生理学 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習	兼任	教授	生物学の基礎 障害者福祉論 障害者スポーツ指導法Ⅲ 解剖生理学 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習 社会貢献学入門	兼任	教授	生物学の基礎 障害者福祉論 障害者スポーツ指導法Ⅲ 解剖生理学 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習 社会貢献学入門	兼任	教授	生物学の基礎 障害者福祉論 障害者スポーツ指導法Ⅲ 解剖生理学 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習 社会貢献学入門 実学臨床教育Ⅰ 実学臨床教育Ⅱ 実学臨床教育Ⅲ 実学臨床教育Ⅳ	兼任	教授	生物学の基礎 障害者福祉論 障害者スポーツ指導法Ⅲ 解剖生理学 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習 実学臨床教育Ⅰ 実学臨床教育Ⅱ 実学臨床教育Ⅲ 実学臨床教育Ⅳ
												兼任	教授	地域減災論Ⅰ
												兼任	教授	地域減災論Ⅰ
														定年退職。他の専任教員にて対応。

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	物理学の基礎 Study Abroad B (北米)	兼担	教授	Study Abroad B (北米) 天文学の基礎	兼担	教授	天文学の基礎	兼担	教授	物理学の基礎 天文学の基礎	兼担	教授	物理学の基礎 天文学の基礎
			兼担	講師	物理学の基礎	兼担	講師	物理学の基礎	兼担	講師	物理学の基礎	兼担	講師	物理学の基礎
兼担	教授	国際協力論	兼担	教授	国際協力論	兼担	教授	国際協力論 アジア共同体に向けて インターンシップⅠ インターンシップⅡ	兼担	教授	国際協力論 アジア共同体に向けて インターンシップⅠ インターンシップⅡ	兼担	教授	国際協力論 アジア共同体に向けて インターンシップⅠ インターンシップⅡ
			兼担	教授	医療概論	兼担	教授	医療概論 臨床医学各論Ⅱ 救急処置法	兼担	教授	医療概論 臨床医学各論Ⅱ 救急処置法	兼担	教授	医療概論 臨床医学各論Ⅱ 救急処置法
兼担	教授	キャリアデザインⅢ 地域活性化マネジメント論 災害復興支援論 マーケティング論	兼担	教授	キャリアデザインⅢ 地域活性化マネジメント論 災害復興支援論 マーケティング論 社会貢献学入門	兼担	教授	キャリアデザインⅢ 地域活性化マネジメント論 災害復興支援論 マーケティング論 社会貢献学入門 地域共創実学教育Ⅰ 地域共創実学教育Ⅱ	兼担	教授	キャリアデザインⅢ 地域活性化マネジメント論 災害復興支援論 マーケティング論 社会貢献学入門 東北の地域課題	兼任	講師	マーケティング論
兼担	教授	情報と社会 ことばと表現	兼担	教授	情報と社会 ことばと表現	兼担	教授	情報と社会 ことばと表現	兼担	教授	定年退職			
兼担	教授	インターンシップⅠ インターンシップⅡ	兼担	教授	インターンシップⅠ インターンシップⅡ	兼担	教授	インターンシップⅠ インターンシップⅡ	兼担	教授	インターンシップⅠ インターンシップⅡ			担当教員の変更。他の専任教員及び兼任教員が担当。
						兼担	教授	インターンシップⅠ インターンシップⅡ	兼担	教授	インターンシップⅠ インターンシップⅡ	兼担	教授	インターンシップⅠ インターンシップⅡ ことばと表現 現代社会を見る眼
						兼担	教授	アジア共同体に向けて	兼担	教授	アジア共同体に向けて	兼担	教授	アジア共同体に向けて
兼担	教授	社会福祉原論(職業指導を含む) 公共マネジメント論 社会福祉行財政論 社会政策論 災害復興支援論	兼担	教授	社会福祉原論(職業指導を含む) 公共マネジメント論 社会福祉行財政論 社会政策論 災害復興支援論	兼担	教授	社会福祉原論(職業指導を含む) 公共マネジメント論 社会福祉行財政論 社会政策論 災害復興支援論	兼担	教授	社会福祉原論(職業指導を含む) 社会福祉行財政論 社会政策論 災害復興支援論	兼担	教授	社会福祉原論(職業指導を含む) 社会福祉行財政論 社会政策論 災害復興支援論
兼担	教授	歴史学の基礎 日本史概説 地域活性化マネジメント論	兼担	教授	日本史概説 地域活性化マネジメント論	兼担	教授	日本史概説	兼担	教授	歴史学の基礎 日本史概説	兼担	教授	歴史学の基礎 日本史概説
			兼担	教授	歴史学の基礎	兼担	教授	歴史学の基礎 日本史概説	兼担	教授	歴史学の基礎 日本史概説	兼担	教授	歴史学の基礎 日本史概説
兼担	教授	キャリアデザインⅠ 地域活性化マネジメント論 災害復興支援論 防災マネジメント論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ NPO論	兼担	教授	キャリアデザインⅠ 地域活性化マネジメント論 災害復興支援論 防災マネジメント論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ NPO論	兼担	教授	キャリアデザインⅠ 地域活性化マネジメント論 災害復興支援論 防災マネジメント論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ NPO論	兼担	教授	キャリアデザインⅠ 地域活性化マネジメント論 災害復興支援論 防災マネジメント論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ NPO論 公共マネジメント論	兼担	教授	地域活性化マネジメント論 災害復興支援論 防災マネジメント論 NPO論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	教授	スポーツⅠ スポーツⅡ スポーツⅢ レクリエーション論	兼任	教授	スポーツⅠ スポーツⅡ スポーツⅢ レクリエーション論	兼任	教授	スポーツⅠ スポーツⅡ スポーツⅢ レクリエーション論	兼任	講師	レクリエーション論
兼任	教授	原子力災害論	兼任	教授	原子力災害論			定年退職 平成29年4月より他の 兼任教員が担当			
兼任	教授	医学一般Ⅰ	兼任	教授	医学一般Ⅰ	兼任	教授	医学一般Ⅰ			科目削除。他の兼任教員が担当。
兼任	教授	Study Abroad E(その他の地域)	兼任	教授	Study Abroad E(その他の地域)	兼任	教授	Study Abroad E(その他の地域) 福祉ボランティア活動Ⅰ (地域貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動Ⅱ (地域貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動Ⅲ (地域貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動Ⅳ (地域貢献活動を含む) ボランティア活動論 地域減災論Ⅰ 地域減災論Ⅱ	兼任	教授	Study Abroad E(その他の地域) 福祉ボランティア活動Ⅰ (地域貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動Ⅱ (地域貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動Ⅲ (地域貢献活動を含む) 福祉ボランティア活動Ⅳ (地域貢献活動を含む) ボランティア活動論 地域減災論Ⅰ 地域減災論Ⅱ Study Abroad D (ヨーロッパ) 環境ボランティア論
兼任	教授	健康科学	兼任	教授	健康科学	兼任	教授	健康科学			定年退職。他の兼任教員が担当。
兼任	教授	ことばと表現			担当教員の変更。他の 兼任教員が担当。				兼任	教授	ことばと表現
			兼任	教授	ことばと表現	兼任	教授	ことばと表現			定年退職。他の兼任教員が担当。
兼任	教授	経済学の基礎 日本経済論 災害復興支援論	兼任	教授	経済学の基礎 日本経済論 災害復興支援論	兼任	教授	経済学の基礎 日本経済論 災害復興支援論 アジア共同体に向けて 経済原論(国際経済を含む) 地域活性化マネジメント論	兼任	教授	経済学の基礎 日本経済論 災害復興支援論 アジア共同体に向けて 経済原論(国際経済を含む) 地域活性化マネジメント論 公共マネジメント論
									兼任	教授	定年退職。他の専任教員及び兼任教員が担当。
									兼任	教授	社会福祉援助技術総論 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ
兼任	教授	スポーツⅠ 障害者スポーツ指導法Ⅰ 障害者スポーツ指導法Ⅱ ユニバーサルスポーツ 障害者スポーツ指導論	兼任	教授	スポーツⅠ 障害者スポーツ指導法Ⅰ 障害者スポーツ指導法Ⅱ ユニバーサルスポーツ 障害者スポーツ指導論	兼任	教授	スポーツⅠ 障害者スポーツ指導法Ⅰ 障害者スポーツ指導法Ⅱ ユニバーサルスポーツ 障害者スポーツ指導論	兼任	教授	スポーツⅠ 障害者スポーツ指導法Ⅰ 障害者スポーツ指導法Ⅱ ユニバーサルスポーツ 障害者スポーツ指導論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)												
		<就任(予定)年月>												
		担当授業科目名												
兼任	教授	色彩と心理 感性心理学	兼任	講師	色彩と心理 感性心理学									
兼任	教授	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 地域活性化マネジメント論 災害復興支援論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ	兼任	教授	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 地域活性化マネジメント論 災害復興支援論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ	兼任	教授	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 地域活性化マネジメント論 災害復興支援論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ <b>地域マネジメント論</b>	兼任	教授	キャリアデザインⅠ 地域活性化マネジメント論 災害復興支援論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ <b>地域マネジメント論</b>	兼任	教授	地域活性化マネジメント論 災害復興支援論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ <b>地域マネジメント論</b>
兼任	教授	禅のこころ 仏教入門(建学の精神・理念を含む) ドイツ語Ⅰ(コミュニケーションを含む) ドイツ語Ⅱ 福祉思想論 仏教学概論												
									兼任	教授	公共マネジメント論 地域活性化マネジメント論	兼任	教授	公共マネジメント論 地域活性化マネジメント論
兼任	教授	公衆衛生学												
									兼任	教授	Study Abroad A(アジア)			担当教員の変更。専任教員及び兼任教員が担当。
兼任	教授	社会福祉援助技術論Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習												
兼任	教授	スポーツⅠ スポーツⅡ スポーツⅢ ユニバーサルスポーツ	兼任	教授	スポーツⅠ スポーツⅡ スポーツⅢ									
												兼任	教授	地域活性化マネジメント論 地域共創実学教育Ⅰ 地域共創実学教育Ⅲ 東北の地域課題
兼任	教授	医学一般Ⅰ	兼任	教授	医学一般Ⅰ			担当者退職。他の兼任教員が担当。						
						兼任	教授	医学一般Ⅰ 臨床医学各論Ⅵ	兼任	教授	医学一般Ⅰ 臨床医学各論Ⅵ 薬理学	兼任	教授	医学一般Ⅰ 薬理学 臨床医学各論Ⅴ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)												
		<就任(予定)年月>												
		担当授業科目名												
兼任	教授	歴史学の基礎 西洋史概説												
兼任	教授	医療概論												
兼任	教授	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ インターンシップⅠ インターンシップⅡ	兼任	教授	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ インターンシップⅠ インターンシップⅡ	兼任	教授	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ インターンシップⅠ インターンシップⅡ	兼任	教授	キャリアデザインⅠ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 公共マネジメント論	兼任	教授	インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	教授	グローバルコミュニケーションⅠ グローバルコミュニケーションⅡ Study Abroad C (オセアニア) 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	教授	グローバルコミュニケーションⅡ 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	教授	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	教授	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ Study Abroad B (北米) Study Abroad D (ヨーロッパ)	兼任	教授	英語Ⅲ Study Abroad B (北米) Study Abroad D (ヨーロッパ)
兼任	教授	福祉経営論 認知症介護論 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習	兼任	教授	福祉経営論 認知症介護論 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習 現代社会を見る眼									
兼任	教授	日本思想史			退職。他の兼任教員が担当。	兼任	教授	日本思想史	兼任	教授	日本思想史	兼任	教授	日本思想史
兼任	教授	社会福祉原論(職業指導を含む) 人権と現代福祉 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	教授	人体構造・機能論 医療概論 臨床医学各論Ⅳ 地域共創実学教育Ⅰ 地域共創実学教育Ⅱ 地域共創実学教育Ⅲ 地域共創実学教育Ⅳ	兼任	教授	人体構造・機能論 医療概論 臨床医学各論Ⅳ 地域共創実学教育Ⅰ 地域共創実学教育Ⅱ 地域共創実学教育Ⅲ 地域共創実学教育Ⅳ <b>健康科学</b>	兼任	教授	人体構造・機能論 医療概論 臨床医学各論Ⅳ 地域共創実学教育Ⅰ 地域共創実学教育Ⅱ 地域共創実学教育Ⅲ 地域共創実学教育Ⅳ <b>健康科学</b> <b>地域活性化マネジメント論</b>	兼任	教授	人体構造・機能論 医療概論 臨床医学各論Ⅳ 地域共創実学教育Ⅰ 地域共創実学教育Ⅱ 地域共創実学教育Ⅲ 地域共創実学教育Ⅳ <b>地域活性化マネジメント論</b>	兼任	教授	人体構造・機能論 医療概論 臨床医学各論Ⅳ 地域共創実学教育Ⅱ 地域共創実学教育Ⅲ 地域共創実学教育Ⅳ <b>地域活性化マネジメント論</b> <b>ビジネスの基本</b> <b>地域と仕事</b>
兼任	教授	教育学の基礎	兼任	教授	教育学の基礎	兼任	教授	教育学の基礎	兼任	教授	教育学の基礎	兼任	教授	教育学の基礎
			<b>兼任</b>	<b>教授</b>	<b>教育学の基礎</b>	<b>兼任</b>	<b>教授</b>	<b>教育学の基礎</b>	<b>兼任</b>	<b>教授</b>	<b>教育学の基礎</b>	<b>兼任</b>	<b>教授</b>	<b>教育学の基礎</b>
兼任	教授	臨床医学各論Ⅴ	兼任	教授	臨床医学各論Ⅴ	兼任	教授	臨床医学各論Ⅴ	兼任	教授	臨床医学各論Ⅴ			<b>定年退職。他の兼任教員が担当。</b>
			<b>兼任</b>	<b>教授</b>	<b>健康科学</b>	<b>兼任</b>	<b>教授</b>	<b>健康科学</b>						
兼任	教授	医療概論 臨床医学各論Ⅶ	兼任	教授	医療概論 臨床医学各論Ⅶ	兼任	教授	医療概論 臨床医学各論Ⅶ	兼任	教授	医療概論 臨床医学各論Ⅶ	兼任	教授	医療概論 臨床医学各論Ⅶ
兼任	教授	人権と現代福祉	兼任	教授	人権と現代福祉			<b>担当教員急逝。他の兼任教員が担当。</b>						
兼任	教授	政治学の基礎 政治学原論（国際政治を含む） 国際関係論	兼任	教授	政治学の基礎 政治学原論（国際政治を含む） 国際関係論	兼任	教授	政治学の基礎 政治学原論（国際政治を含む） 国際関係論 <b>地域活性化マネジメント論</b>	兼任	教授	政治学の基礎 政治学原論（国際政治を含む） 国際関係論 <b>公共マネジメント論</b> <b>アジア共同体に向けて</b>	兼任	教授	政治学の基礎 政治学原論（国際政治を含む） 国際関係論 <b>アジア共同体に向けて</b>
兼任	教授	食と生活	兼任	教授	食と生活 <b>健康科学</b>	兼任	教授	食と生活 <b>健康科学</b>	兼任	教授	食と生活	兼任	教授	食と生活
兼任	教授	文学入門 ことばと表現	兼任	教授	文学入門 ことばと表現	兼任	教授	文学入門 ことばと表現	兼任	教授	文学入門 ことばと表現	兼任	教授	文学入門 ことばと表現
兼任	教授	芸術入門 表現基礎演習	兼任	教授	芸術入門 表現基礎演習	兼任	教授	芸術入門 表現基礎演習	兼任	教授	芸術入門 表現基礎演習	兼任	教授	芸術入門 表現基礎演習
									<b>兼任</b>	<b>教授</b>	<b>スポーツ医学</b>	<b>兼任</b>	<b>教授</b>	<b>スポーツ医学</b>
兼任	教授	医療概論 人体構造・機能論 病理学	兼任	教授	医療概論 人体構造・機能論 病理学	兼任	教授	人体構造・機能論 病理学 <b>臨床医学各論Ⅶ</b>	兼任	教授	人体構造・機能論 <b>臨床医学各論Ⅶ</b>	兼任	教授	人体構造・機能論 <b>臨床医学各論Ⅶ</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	地域減災論 I 医療概論 臨床医学総論 臨床医学各論 I 臨床医学各論 III 人体構造・機能論 病院実習 I 病院実習 II 救急車搭乗実習 シミュレーション実習 I シミュレーション実習 II シミュレーション実習 III シミュレーション実習 IV	兼任	教授	地域減災論 I 医療概論 臨床医学総論 臨床医学各論 I 臨床医学各論 III 人体構造・機能論 病院実習 I 病院実習 II 救急車搭乗実習 シミュレーション実習 I シミュレーション実習 II シミュレーション実習 III シミュレーション実習 IV <b>救急医学総論</b>	兼任	教授	医療概論 臨床医学総論 臨床医学各論 III <b>救急医学総論</b>	兼任	教授	臨床医学総論 臨床医学各論 III 病院実習 I 病院実習 II 救急車搭乗実習 シミュレーション実習 I シミュレーション実習 II シミュレーション実習 III シミュレーション実習 IV <b>救急医学総論</b>	兼任	教授	臨床医学総論 臨床医学各論 III 病院実習 I 病院実習 II 救急車搭乗実習 シミュレーション実習 I シミュレーション実習 II シミュレーション実習 III シミュレーション実習 IV <b>救急医学総論</b> <b>臨床医学各論 I</b>
兼任	教授	精神医学 認知症病態論	兼任	教授	精神医学 認知症病態論	兼任	教授	精神医学 認知症病態論	兼任	教授	精神医学 認知症病態論	兼任	講師	精神医学 認知症病態論
兼任	教授	現代福祉の基礎 福祉計画法 地域福祉論 福祉社会学 福祉思想論	兼任	教授	現代福祉の基礎 福祉計画法 地域福祉論 福祉社会学 福祉思想論	兼任	教授	現代福祉の基礎 福祉計画法 地域福祉論 福祉社会学 福祉思想論	兼任	教授	現代福祉の基礎 福祉計画法 地域福祉論 福祉社会学 福祉思想論	兼任	教授	現代福祉の基礎 福祉計画法 地域福祉論 福祉社会学 福祉思想論
兼任	教授	障害者福祉論 就労支援サービス論 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術演習 II 社会福祉援助技術演習 III 社会福祉援助技術実習指導 I 社会福祉援助技術実習指導 II 社会福祉援助技術実習	兼任	教授	障害者福祉論 就労支援サービス論 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術演習 II 社会福祉援助技術演習 III 社会福祉援助技術実習指導 I 社会福祉援助技術実習指導 II 社会福祉援助技術実習	兼任	教授	障害者福祉論 就労支援サービス論 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術演習 II 社会福祉援助技術演習 III 社会福祉援助技術実習指導 I 社会福祉援助技術実習指導 II 社会福祉援助技術実習	兼任	教授	障害者福祉論 就労支援サービス論 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術演習 II 社会福祉援助技術演習 III 社会福祉援助技術実習指導 I 社会福祉援助技術実習指導 II 社会福祉援助技術実習	兼任	教授	障害者福祉論 就労支援サービス論 社会福祉援助技術演習 I 社会福祉援助技術演習 II 社会福祉援助技術演習 III 社会福祉援助技術実習指導 I 社会福祉援助技術実習指導 II 社会福祉援助技術実習
兼任	教授	キャリアデザイン I 卒業制作	兼任	教授	キャリアデザイン I 卒業制作	兼任	教授	キャリアデザイン I 卒業制作	兼任	教授	キャリアデザイン I 卒業制作	兼任	教授	卒業制作
			兼任	教授	<b>健康科学</b>	兼任	教授	<b>健康科学</b>	兼任	教授	<b>科目担当除外。他の兼任教員が担当。</b>	兼任	教授	
									兼任	教授	<b>介護論</b>	兼任	教授	<b>介護論</b> 社会福祉援助技術演習 I
兼任	教授	日本史概説	兼任	教授	日本史概説			<b>定年退職。他の兼任教員が担当。</b>						
兼任	教授	児童・家庭福祉論	兼任	教授	児童・家庭福祉論	兼任	教授	児童・家庭福祉論	兼任	教授	児童・家庭福祉論	兼任	教授	児童・家庭福祉論
兼任	教授	福祉心理学	兼任	教授	福祉心理学	兼任	教授	福祉心理学	兼任	教授	福祉心理学	兼任	教授	福祉心理学
兼任	教授	法の基礎 家族法	兼任	教授	法の基礎 家族法	兼任	教授	法の基礎 家族法			<b>退職。他の専任教員の及び兼任教員が担当。</b>			
兼任	教授	医学一般 I	兼任	教授	医学一般 I	兼任	教授	医学一般 I <b>生理学</b>	兼任	教授	医学一般 I <b>生理学</b>	兼任	講師	医学一般 I <b>生理学</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)												
		<就任(予定)年月>												
		担当授業科目名												
兼任	准教授	表現応用演習 表現技術Ⅳ(美術)												
兼任	准教授	高齢者福祉論												
兼任	准教授	福祉観光と文化	兼任	准教授	福祉観光と文化	兼任	准教授	福祉観光と文化 地域活性化マネジメント論	兼任	准教授	福祉観光と文化	兼任	准教授	福祉観光と文化
兼任	准教授	化学の基礎 数学の基礎 キャリアデザインⅠ	兼任	准教授	化学の基礎 数学の基礎 キャリアデザインⅠ 健康科学	兼任	准教授	化学の基礎 数学の基礎 キャリアデザインⅠ 健康科学	兼任	准教授	化学の基礎 数学の基礎 キャリアデザインⅠ	兼任	准教授	化学の基礎 数学の基礎 応用数学Ⅰ
兼任	准教授	スポーツⅠ 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 実用中国語A 実用中国語B	兼任	准教授	スポーツⅠ 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 実用中国語A 実用中国語B	兼任	准教授	スポーツⅠ 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ	兼任	准教授	スポーツⅠ 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ アジア共同体に向けて	兼任	准教授	スポーツⅠ 中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ アジア共同体に向けて
兼任	准教授	臨床美術論Ⅰ 臨床美術論Ⅱ 臨床美術論Ⅲ 臨床美術論Ⅳ	兼任	准教授	臨床美術論Ⅰ 臨床美術論Ⅱ 臨床美術論Ⅲ 臨床美術論Ⅳ	兼任	准教授	臨床美術論Ⅰ 臨床美術論Ⅱ 臨床美術論Ⅲ 臨床美術論Ⅳ	兼任	准教授	臨床美術論Ⅰ 臨床美術論Ⅱ 臨床美術論Ⅲ 臨床美術論Ⅳ 陶芸制作Ⅰ 陶芸制作Ⅱ 陶芸制作Ⅲ	兼任	准教授	臨床美術論Ⅰ 臨床美術論Ⅱ 臨床美術論Ⅲ 臨床美術論Ⅳ 陶芸制作Ⅰ 陶芸制作Ⅱ 陶芸制作Ⅲ ことばと表現
兼任	准教授	スポーツⅠ スポーツ医学 キャリアデザインⅠ 障害者スポーツ指導法Ⅰ 障害者スポーツ指導法Ⅱ 障害者スポーツ指導法Ⅲ ユニバーサルスポーツ 障害者スポーツ指導論	兼任	准教授	スポーツⅠ スポーツ医学 障害者スポーツ指導法Ⅰ 障害者スポーツ指導法Ⅱ 障害者スポーツ指導法Ⅲ ユニバーサルスポーツ 障害者スポーツ指導論	兼任	准教授	担当教員退職。他の兼任教員及び兼任教員が担当。	兼任	准教授		兼任	准教授	
兼任	准教授	医療概論 スポーツ運動学 人体構造・機能論 臨床医学各論Ⅶ	兼任	准教授	医療概論 スポーツ運動学 人体構造・機能論 臨床医学各論Ⅶ 健康科学	兼任	准教授	医療概論 スポーツ運動学 人体構造・機能論 臨床医学各論Ⅶ 健康科学	兼任	准教授	医療概論 スポーツ運動学 人体構造・機能論 臨床医学各論Ⅶ 病院実習Ⅰ	兼任	准教授	医療概論 スポーツ運動学 人体構造・機能論 臨床医学各論Ⅶ 病院実習Ⅰ
兼任	准教授	児童・家庭福祉論 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習												
兼任	准教授	スポーツⅠ スポーツⅡ	兼任	准教授	スポーツⅠ スポーツⅡ ユニバーサルスポーツ									
兼任	准教授	スポーツⅠ スポーツの心理学 キャリアデザインⅠ	兼任	准教授	スポーツⅠ スポーツの心理学									
兼任	准教授	福祉心理学												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	グローバルコミュニケーションⅠ グローバルコミュニケーションⅡ 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D 実用英語E 実用英語F	兼任	教授	グローバルコミュニケーションⅠ グローバルコミュニケーションⅡ 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D 実用英語E 実用英語F Study Abroad C (オセアニア)	兼任	教授	グローバルコミュニケーションⅠ グローバルコミュニケーションⅡ 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D 実用英語E 実用英語F Study Abroad C (オセアニア)	兼任	教授	グローバルコミュニケーションⅠ グローバルコミュニケーションⅡ 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D 実用英語E 実用英語F Study Abroad C (オセアニア) アジア共同体に向けて	兼任	教授	グローバルコミュニケーションⅠ グローバルコミュニケーションⅡ 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D 実用英語E 実用英語F Study Abroad C (オセアニア) アジア共同体に向けて
兼任	准教授	Study Abroad D (ヨーロッパ)	兼任	准教授	Study Abroad D (ヨーロッパ)	兼任	准教授	Study Abroad D (ヨーロッパ)	兼任	准教授	Study Abroad D (ヨーロッパ)	兼任	准教授	Study Abroad D (ヨーロッパ) Study Abroad A (アジア)
兼任	准教授	情報処理実習	兼任	准教授	情報処理実習	兼任	准教授	情報処理実習 インターンシップⅠ インターンシップⅡ	兼任	准教授	情報処理実習 インターンシップⅠ インターンシップⅡ	兼任	准教授	インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	准教授	障害者福祉論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習	兼任	教授	障害者福祉論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習	兼任	教授	障害者福祉論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習 地域共創実学教育Ⅰ 地域共創実学教育Ⅱ 地域共創実学教育Ⅲ	兼任	教授	障害者福祉論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習 地域共創実学教育Ⅰ 地域共創実学教育Ⅱ 地域共創実学教育Ⅲ キャリアデザインⅠ			
									兼任	准教授	社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習	兼任	准教授	社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習
									兼任	准教授	病理学	兼任	准教授	病理学
兼任	准教授	疾病治療論Ⅳ(小児)	兼任	准教授	疾病治療論Ⅳ(小児)	兼任	准教授	疾病治療論Ⅳ(小児)	兼任	准教授	疾病治療論Ⅳ(小児)	兼任	准教授	疾病治療論Ⅳ(小児)
兼任	准教授	心理学の基礎 心理学概論	兼任	准教授	心理学の基礎 心理学概論	兼任	准教授	心理学の基礎 心理学概論	兼任	准教授	心理学の基礎 心理学概論	兼任	准教授	心理学の基礎 心理学概論
兼任	准教授	情報と社会 国際政治論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ マスメディア論 情報社会学 情報倫理	兼任	教授	情報と社会 国際政治論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ マスメディア論 情報社会学 情報倫理	兼任	教授	情報と社会 国際政治論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ マスメディア論 情報社会学 情報倫理 アジア共同体に向けて 原子力災害論	兼任	教授	情報と社会 国際政治論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ マスメディア論 情報社会学 情報倫理 アジア共同体に向けて 原子力災害論			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	医療概論 情報ネットワーク論	兼任	准教授	医療概論 情報ネットワーク論	兼任	准教授	医療概論 情報ネットワーク論 <b>情報ネットワーク基礎実習</b> <b>インフォメーションデザイン論</b>	兼任	准教授	医療概論 情報ネットワーク論 <b>情報ネットワーク基礎実習</b> <b>インフォメーションデザイン論</b>	兼任	准教授	情報ネットワーク論 <b>情報ネットワーク基礎実習</b> <b>インフォメーションデザイン論</b>
兼任	准教授	災害と社会 災害福祉論Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習	兼任	准教授	災害と社会 災害福祉論Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習	兼任	准教授	災害と社会 災害福祉論Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習	兼任	准教授	災害と社会 災害福祉論Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習	兼任	准教授	災害と社会 災害福祉論Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習 <b>災害福祉論Ⅱ</b>
兼任	准教授	健康科学	兼任	准教授	健康科学	兼任	准教授	健康科学	兼任	准教授	健康科学 <b>特講(臨床健康科学)</b>	兼任	准教授	健康科学 <b>特講(臨床健康科学)</b>
兼任	准教授	Study Abroad B (北米) 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	准教授	Study Abroad B (北米) 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ <b>Study Abroad D (ヨーロッパ)</b>	兼任	准教授	Study Abroad B (北米) 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ <b>Study Abroad D (ヨーロッパ)</b>	兼任	准教授	Study Abroad B (北米) 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ <b>Study Abroad D (ヨーロッパ)</b> <b>アジア共同体に向けて</b>	兼任	准教授	Study Abroad B (北米) 英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ <b>Study Abroad D (ヨーロッパ)</b> <b>アジア共同体に向けて</b> <b>実用英語A</b> <b>実用英語B</b> <b>実用英語C</b> <b>実用英語D</b> <b>実用英語E</b> <b>実用英語F</b>
兼任	准教授	社会福祉援助技術論Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習	兼任	教授	社会福祉援助技術論Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習	兼任	教授	社会福祉援助技術論Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習	兼任	教授	社会福祉援助技術論Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習	兼任	教授	社会福祉援助技術論Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習
兼任	准教授	キャリアデザインⅠ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 臨床医学各論Ⅰ 病院実習Ⅰ 病院実習Ⅱ 救急車搭乗実習 シミュレーション実習Ⅰ シミュレーション実習Ⅱ シミュレーション実習Ⅲ シミュレーション実習Ⅳ	兼任	准教授	キャリアデザインⅠ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 臨床医学各論Ⅰ 病院実習Ⅰ 病院実習Ⅱ 救急車搭乗実習 シミュレーション実習Ⅰ シミュレーション実習Ⅱ シミュレーション実習Ⅲ シミュレーション実習Ⅳ	兼任	准教授	キャリアデザインⅠ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 病院実習Ⅰ 病院実習Ⅱ 救急車搭乗実習 シミュレーション実習Ⅰ シミュレーション実習Ⅱ シミュレーション実習Ⅲ シミュレーション実習Ⅳ	兼任	准教授	キャリアデザインⅠ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 病院実習Ⅰ 病院実習Ⅱ 救急車搭乗実習 シミュレーション実習Ⅰ シミュレーション実習Ⅱ シミュレーション実習Ⅲ シミュレーション実習Ⅳ	兼任	准教授	キャリアデザインⅠ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 病院実習Ⅰ 病院実習Ⅱ <b>地域共創実学教育Ⅰ</b>
兼任	准教授	心理学概論	兼任	准教授	心理学概論	兼任	准教授	心理学概論	兼任	准教授	心理学概論	兼任	准教授	心理学概論
兼任	准教授	生物学の基礎 キャリアデザインⅠ 公衆衛生学 生理学 臨床医学各論Ⅴ	兼任	准教授	生物学の基礎 キャリアデザインⅠ 公衆衛生学 生理学 臨床医学各論Ⅴ	兼任	准教授	生物学の基礎 キャリアデザインⅠ 公衆衛生学 生理学 臨床医学各論Ⅴ	兼任	准教授	生物学の基礎 キャリアデザインⅠ 公衆衛生学 生理学 臨床医学各論Ⅴ	兼任	教授	生物学の基礎 公衆衛生学 生理学 臨床医学各論Ⅴ
						兼任	講師	スポーツ医学	兼任	講師	スポーツ医学	兼任	講師	スポーツ医学





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)												
		<就任(予定)年月>												
		担当授業科目名												
兼任	助教	医療概論	兼任	助教	医療概論	兼任	助教	医療概論	兼任	助教	医療概論 病院実習Ⅰ	兼任	助教	医療概論 病院実習Ⅰ
									兼任	助教	社会福祉援助技術演習Ⅲ	兼任	助教	社会福祉援助技術演習Ⅲ
									兼任	助教	スポーツ医学	兼任	助教	スポーツ医学
						兼任	講師	福祉行政総論 社会福祉行政論	兼任	講師	福祉行政総論 社会福祉行政論 Study Abroad C (オセアニア)			専任の欄に移動
兼任	助教	社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習	兼任	講師	社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習	兼任	講師	社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習	兼任	講師	社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習 児童・家庭福祉論	兼任	講師	社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習 児童・家庭福祉論
兼任	助教	児童・家庭福祉論 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習	兼任	講師	児童・家庭福祉論 社会福祉援助技術演習Ⅰ 社会福祉援助技術演習Ⅱ 社会福祉援助技術演習Ⅲ 社会福祉援助技術実習指導Ⅰ 社会福祉援助技術実習指導Ⅱ 社会福祉援助技術実習									
兼任	助教	アニメーション技法			担当教員退職。他の兼任教員が担当。									
												兼任	助教	地域活性化マネジメント論 地域共創実学教育Ⅰ
兼任	助教	スポーツⅠ スポーツ社会学	兼任	講師	スポーツⅠ スポーツ社会学	兼任	講師	スポーツⅠ スポーツ社会学 地域活性化マネジメント論 地域共創実学教育Ⅰ 地域共創実学教育Ⅱ			担当教員退職。他の兼任教員が担当。			
			兼任	助教	心理学の基礎									
			兼任	助手	情報と社会	兼任	助手	情報と社会	兼任	助教	情報と社会	兼任	助教	情報と社会 ユニバーサルスポーツ
兼任	講師	社会学原論												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D	兼任	講師	英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D 実用英語E 実用英語F
			兼任	講師	情報セキュリティ管理論	兼任	講師	情報セキュリティ管理論	兼任	講師	情報セキュリティ管理論	兼任	講師	情報セキュリティ管理論
兼任	講師	マスコミュニケーション論	兼任	講師	マスコミュニケーション論	兼任	講師	マスコミュニケーション論	兼任	講師	マスコミュニケーション論 アジア共同体に向けて	兼任	講師	マスコミュニケーション論 アジア共同体に向けて
兼任	講師	社会貢献論Ⅰ 社会貢献論Ⅱ 国際情勢論	兼任	講師	社会貢献論Ⅰ 社会貢献論Ⅱ 国際情勢論	兼任	講師	社会貢献論Ⅰ 社会貢献論Ⅱ 国際情勢論	兼任	講師	社会貢献論Ⅰ 社会貢献論Ⅱ 国際情勢論	兼任	講師	社会貢献論Ⅰ 社会貢献論Ⅱ 国際情勢論
兼任	講師	異文化コミュニケーション	兼任	講師	異文化コミュニケーション	兼任	講師	異文化コミュニケーション	兼任	講師	異文化コミュニケーション	兼任	講師	異文化コミュニケーション
兼任	講師	地域マネジメント論 地域活性化マネジメント論 東北の地域課題	兼任	講師	地域マネジメント論 地域活性化マネジメント論 東北の地域課題	兼任	講師	東北の地域課題	兼任	講師	東北の地域課題	兼任	講師	担当教員退職。他の兼任教員が担当。
兼任	講師	スポーツⅠ	兼任	講師	スポーツⅠ	兼任	講師	スポーツⅠ	兼任	講師	スポーツⅠ	兼任	講師	スポーツⅠ スポーツリーダーシップ論
兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ	兼任	准教授	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ	兼任	講師	他の兼任教員が担当。
兼任	講師	情報処理論	兼任	講師	情報処理論	兼任	講師	情報処理論	兼任	講師	情報処理論	兼任	講師	情報処理論
兼任	講師	臨床医学各論Ⅳ	兼任	講師	臨床医学各論Ⅳ	兼任	講師	臨床医学各論Ⅳ	兼任	講師	臨床医学各論Ⅳ	兼任	講師	臨床医学各論Ⅳ
兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅱ	兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅱ	兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅱ	兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅱ	兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅱ
兼任	講師	中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ	兼任	講師	中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ	兼任	講師	中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ	兼任	講師	中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ	兼任	講師	中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ
兼任	講師	情報処理実習	兼任	講師	情報処理実習	兼任	講師	情報処理実習	兼任	講師	情報処理実習	兼任	講師	担当教員退職。他の兼任教員が担当。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	ハンゲル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む) ハンゲル講座Ⅱ ハンゲル講座Ⅲ	兼任	講師	ハンゲル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む) ハンゲル講座Ⅱ ハンゲル講座Ⅲ	兼任	講師	ハンゲル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む) ハンゲル講座Ⅱ ハンゲル講座Ⅲ	兼任	講師	ハンゲル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む) ハンゲル講座Ⅱ ハンゲル講座Ⅲ	兼任	講師	担当教員退職。他の兼任教員が担当。
												兼任	講師	ハンゲル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む) ハンゲル講座Ⅱ
												兼任	講師	スポーツリスクマネジメント
兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅰ 障害者スポーツ指導法Ⅱ	兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅰ 障害者スポーツ指導法Ⅱ			担当教員の変更。他の兼任教員が担当。						
兼任	講師	社会学原論	兼任	講師	社会学原論	兼任	講師	社会学原論	兼任	講師	社会学原論	兼任	講師	社会学原論
兼任	講師	臨床医学各論Ⅶ	兼任	講師	臨床医学各論Ⅶ	兼任	講師	臨床医学各論Ⅶ	兼任	講師	臨床医学各論Ⅶ	兼任	講師	臨床医学各論Ⅶ
												兼任	講師	地域減災論Ⅰ
												兼任	講師	地域減災論Ⅰ
兼任	講師	臨床医学各論Ⅰ	兼任	講師	臨床医学各論Ⅰ	兼任	講師	臨床医学各論Ⅰ	兼任	講師	臨床医学各論Ⅰ	兼任	講師	担当教員変更。他の兼任教員が担当。
兼任	講師	社会学の基礎	兼任	講師	社会学の基礎	兼任	講師	社会学の基礎	兼任	講師	社会学の基礎	兼任	講師	社会学の基礎
												兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ
												兼任	講師	地域減災論Ⅰ
兼任	講師	減災・予防福祉演習Ⅰ 減災・予防福祉演習Ⅱ 減災・予防福祉演習Ⅲ	兼任	講師	減災・予防福祉演習Ⅰ 減災・予防福祉演習Ⅱ 減災・予防福祉演習Ⅲ 社会貢献学入門	兼任	講師	減災・予防福祉演習Ⅰ 減災・予防福祉演習Ⅱ 減災・予防福祉演習Ⅲ 社会貢献学入門 地域減災論Ⅰ	兼任	講師	減災・予防福祉演習Ⅰ 減災・予防福祉演習Ⅱ 減災・予防福祉演習Ⅲ 社会貢献学入門 地域減災論Ⅰ	兼任	講師	減災・予防福祉演習Ⅰ 減災・予防福祉演習Ⅱ 減災・予防福祉演習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	ボランティア論	兼任	講師	ボランティア論	兼任	講師	ボランティア論	兼任	講師	ボランティア論	兼任	講師	ボランティア論
兼任	講師	スポーツ医科学	兼任	講師	スポーツ医科学	兼任	講師	スポーツ医科学	兼任	講師	スポーツ医科学	兼任	講師	スポーツ医科学
兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅲ	兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅲ	兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅲ	兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅲ	兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅲ
兼任	講師	社会福祉援助技術総論	兼任	講師	社会福祉援助技術総論	兼任	講師	社会福祉援助技術総論	兼任	講師	社会福祉援助技術総論	兼任	講師	社会福祉援助技術総論
兼任	講師	防災行政学Ⅰ	兼任	講師	防災行政学Ⅰ	兼任	講師	防災行政学Ⅰ	兼任	講師	防災行政学Ⅰ	兼任	講師	防災行政学Ⅰ
兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅲ
兼任	講師	情報処理実習	兼任	講師	情報処理実習	兼任	講師	情報処理実習	兼任	講師	情報処理実習	兼任	講師	情報処理実習
兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅲ	兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅲ	兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅲ	兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅲ	兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅲ
						兼任	講師	アジア共同体に向けて	兼任	講師	アジア共同体に向けて	兼任	講師	アジア共同体に向けて
						兼任	講師	統計学の基礎	兼任	講師	統計学の基礎	兼任	講師	統計学の基礎
												兼任	講師	スポーツトレーニング理論と実践
兼任	講師	宗教学入門 禪のこころ 日本仏教史 特講(死の考現学)	兼任	講師	宗教学入門 禪のこころ 日本仏教史 特講(死の考現学)	兼任	講師	宗教学入門 禪のこころ 日本仏教史 特講(死の考現学Ⅰ) 特講(死の考現学Ⅱ)	兼任	講師	宗教学入門 禪のこころ 日本仏教史	兼任	講師	宗教学入門 禪のこころ 日本仏教史
兼任	講師	臨床医学各論Ⅵ	兼任	講師	臨床医学各論Ⅵ			担当教員の変更。他の 兼任教員が担当。						
兼任	講師	キャリアデザインⅢ	兼任	講師	キャリアデザインⅢ			担当教員の変更。他の 兼任教員が担当。						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)									
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	認知デザイン論 アニメーション論	兼任	講師	認知デザイン論 アニメーション論									
			兼任	講師	禪のこころ	兼任	講師	禪のこころ	兼任	講師	禪のこころ	兼任	講師	禪のこころ
兼任	講師	陶芸制作Ⅰ 陶芸制作Ⅱ 陶芸制作Ⅲ	兼任	講師	陶芸制作Ⅰ 陶芸制作Ⅱ 陶芸制作Ⅲ	兼任	講師	陶芸制作Ⅰ 陶芸制作Ⅱ 陶芸制作Ⅲ	兼任	講師	担当教員の変更。他の 兼任教員が担当。			
兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅲ
												兼任	講師	禪のこころ
						兼任	講師	地域防災論Ⅰ	兼任	講師	地域防災論Ⅰ			担当教員の変更。他の 兼任及び兼任教員が担 当。
						兼任	講師	地域防災論Ⅰ	兼任	講師	地域防災論Ⅰ	兼任	講師	地域防災論Ⅰ
兼任	講師	ハングル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む) ハングル講座Ⅱ ハングル講座Ⅲ	兼任	講師	ハングル講座Ⅰ(コミュニケーションを含む) ハングル講座Ⅱ ハングル講座Ⅲ									
兼任	講師	会計学	兼任	講師	会計学									
兼任	講師	福祉行政総論 福祉行政各論 地域活性化マネジメント論	兼任	講師	福祉行政総論 福祉行政各論 地域活性化マネジメント論	兼任	講師	福祉行政総論 福祉行政各論 地域共創実学教育Ⅱ 地域共創実学教育Ⅲ	兼任	講師	福祉行政総論 福祉行政各論 地域共創実学教育Ⅱ 地域共創実学教育Ⅲ	兼任	講師	福祉行政総論 福祉行政各論 地域共創実学教育Ⅱ 地域共創実学教育Ⅲ
兼任	講師	病理学	兼任	講師	担当教員の変更。他の 兼任教員が担当。									
												兼任	准教授	病理学
兼任	講師	中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ	兼任	講師	中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ	兼任	講師	中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ	兼任	講師	中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 実用中国語A 実用中国語B	兼任	講師	中国語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 実用中国語A 実用中国語B
兼任	講師	ヒューマンデザイン論 特講(健康デザイン論)	兼任	講師	ヒューマンデザイン論 特講(健康デザイン論)	兼任	講師	ヒューマンデザイン論	兼任	講師	ヒューマンデザイン論	兼任	講師	担当教員の変遷。科目 廃止。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	倫理学概論 倫理学入門	兼任	講師	倫理学概論	兼任	講師	倫理学概論	兼任	講師	倫理学概論	兼任	講師	倫理学概論
			兼任	教授	倫理学入門	兼任	教授	倫理学入門	兼任	教授	倫理学入門	兼任	教授	倫理学入門
兼任	講師	環境政策ビジネス論 環境情報学	兼任	講師	環境政策ビジネス論 環境情報学	兼任	講師	環境政策ビジネス論 環境情報学	兼任	講師	環境政策ビジネス論 環境情報学	兼任	講師	環境政策ビジネス論 環境情報学
									兼任	講師	シミュレーション実習Ⅲ	兼任	講師	シミュレーション実習Ⅰ シミュレーション実習Ⅱ シミュレーション実習Ⅲ
兼任	講師	災害福祉論Ⅱ	兼任	講師	災害福祉論Ⅱ	兼任	講師	災害福祉論Ⅱ	兼任	講師	災害福祉論Ⅱ			担当教員の変更。他の 兼任教員が担当。
兼任	講師	キャリアデザインⅡ	兼任	講師	キャリアデザインⅡ			担当教員の変更。他の 兼任教員が担当。						
兼任	講師	スポーツⅠ 地域減災論Ⅱ 地域活性化マナジメン ト論 地域共創福祉論	兼任	講師	スポーツⅠ 地域減災論Ⅱ 地域活性化マナジメン ト論 地域共創福祉論	兼任	講師	スポーツⅠ 地域減災論Ⅱ 地域活性化マナジメン ト論 地域共創福祉論	兼任	講師	スポーツⅠ 地域減災論Ⅱ 地域活性化マナジメン ト論 地域共創福祉論	兼任	講師	スポーツⅠ 地域減災論Ⅱ 地域活性化マナジメン ト論 地域共創福祉論
兼任	講師	映像制作論 アニメ制作実習Ⅰ アニメ制作実習Ⅱ	兼任	講師	映像制作論 アニメ制作実習Ⅰ アニメ制作実習Ⅱ	兼任	講師	映像制作論 アニメ制作実習Ⅰ アニメ制作実習Ⅱ	兼任	講師	映像制作論 アニメ制作実習Ⅰ アニメ制作実習Ⅱ	兼任	講師	映像制作論 アニメ制作実習Ⅰ アニメ制作実習Ⅱ
			兼任	講師	健康科学	兼任	講師	健康科学			担当教員の変更。他の 兼任教員が担当。			
兼任	講師	ドイツ語Ⅰ(コミュニ ケーションを含む) ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ 実用ドイツ語A 実用ドイツ語B	兼任	講師	ドイツ語Ⅰ(コミュニ ケーションを含む) ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ 実用ドイツ語A 実用ドイツ語B	兼任	講師	ドイツ語Ⅰ(コミュニ ケーションを含む) ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ 実用ドイツ語A 実用ドイツ語B	兼任	講師	ドイツ語Ⅰ(コミュニ ケーションを含む) ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ 実用ドイツ語A 実用ドイツ語B	兼任	講師	ドイツ語Ⅰ(コミュニ ケーションを含む) ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ 実用ドイツ語A 実用ドイツ語B
												兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケー ションを含む) 英語Ⅱ
兼任	講師	地域活性化マナジメン ト論	兼任	講師	地域活性化マナジメン ト論	兼任	講師	地域活性化マナジメン ト論	兼任	講師	地域活性化マナジメン ト論	兼任	講師	地域活性化マナジメン ト論
						兼任	講師	スポーツⅠ 障害者スポーツ指導法Ⅰ 障害者スポーツ指導法Ⅱ 障害者スポーツ指導法Ⅲ ユニバーサルスポーツ	兼任	講師	スポーツⅠ 障害者スポーツ指導法Ⅰ 障害者スポーツ指導法Ⅱ 障害者スポーツ指導法Ⅲ ユニバーサルスポーツ	兼任	講師	スポーツⅠ 障害者スポーツ指導法Ⅰ 障害者スポーツ指導法Ⅱ 障害者スポーツ指導法Ⅲ ユニバーサルスポーツ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	禪のこころ	兼任	講師	禪のこころ	兼任	講師	禪のこころ	兼任	講師	禪のこころ	兼任	講師	禪のこころ
									兼任	講師	スポーツ I	兼任	講師	スポーツ I
兼任	講師	情報処理論	兼任	講師	情報処理論	兼任	講師	情報処理論	兼任	講師	情報処理論	兼任	講師	情報処理論
兼任	講師	生涯スポーツ論	兼任	講師	生涯スポーツ論	兼任	講師	生涯スポーツ論	兼任	講師	生涯スポーツ論	兼任	講師	生涯スポーツ論
兼任	講師	キャリアデザイン II	兼任	講師	キャリアデザイン II	兼任	講師	キャリアデザイン II			担当教員の変更。他の 兼任教員が担当。			
						兼任	講師	地域防災論 I	兼任	講師	地域防災論 I	兼任	講師	地域防災論 I
						兼任	講師	障害者スポーツ指導法 II 障害者スポーツ指導法 III	兼任	講師	障害者スポーツ指導法 II 障害者スポーツ指導法 III	兼任	講師	障害者スポーツ指導法 II 障害者スポーツ指導法 III
									兼任	講師	病院実習 I シミュレーション実習 II	兼任	講師	病院実習 I 病院実習 II シミュレーション実習 II シミュレーション実習 III シミュレーション実習 IV
									兼任	講師	シミュレーション実習 I	兼任	講師	シミュレーション実習 I
兼任	講師	リーダーシップ論	兼任	講師	リーダーシップ論	兼任	講師	リーダーシップ論	兼任	講師	リーダーシップ論			担当教員の変更。他の 兼任教員が担当。
									兼任	講師	アジア共同体に向けて			担当教員の変更。他の 兼任教員及び兼任教員 が担当。
						兼任	講師	キャリアデザイン II	兼任	講師	キャリアデザイン II	兼任	講師	キャリアデザイン II キャリアデザイン III
兼任	講師	情報処理実習	兼任	講師	情報処理実習	兼任	講師	情報処理実習	兼任	講師	情報処理実習	兼任	講師	情報処理実習
						兼任	講師	地域防災論 I	兼任	講師	地域防災論 I	兼任	講師	地域防災論 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	脚本・演出概論 映像論 シナリオ演習 地域活性化マネジメント論	兼任	講師	脚本・演出概論 映像論 シナリオ演習 地域活性化マネジメント論	兼任	講師	脚本・演出概論 映像論 シナリオ演習	兼任	講師	脚本・演出概論 映像論 シナリオ演習	兼任	講師	脚本・演出概論 映像論 シナリオ演習
兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ	兼任	講師	担当教員の変更。他の兼任教員が担当。
			兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D	兼任	講師	担当教員の退職。他の兼任教員が担当。
兼任	講師	英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅲ
兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ 観光英語Ⅰ 観光英語Ⅱ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ 観光英語Ⅰ 観光英語Ⅱ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ 観光英語Ⅰ 観光英語Ⅱ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ 観光英語Ⅰ 観光英語Ⅱ	兼任	講師	英語Ⅲ 観光英語Ⅰ 観光英語Ⅱ
兼任	講師	医学一般Ⅰ	兼任	講師	医学一般Ⅰ	兼任	講師	医学一般Ⅰ	兼任	講師	医学一般Ⅰ	兼任	講師	医学一般Ⅰ
												兼任	講師	障害者スポーツ指導法Ⅲ
兼任	講師	救急処置法	兼任	講師	救急処置法			担当教員の変更。他の兼任教員が担当。						
									兼任	講師	スポーツⅠ	兼任	講師	スポーツⅠ レクリエーション論
兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ Study Abroad A (アジア) 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ Study Abroad A (アジア) 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ Study Abroad A (アジア) 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D 実用英語E 実用英語F	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ Study Abroad A (アジア) 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D 実用英語E 実用英語F
									兼任	講師	地域活性化マネジメント論	兼任	講師	担当教員の変更。他の兼任教員が担当。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)												
		<就任(予定)年月>												
		担当授業科目名												
兼任	講師	国際協力論 I	兼任	講師	地域減災論 I									
兼任	講師	情報処理実習 情報処理応用実習												
兼任	講師	ハングル講座 I (コミュニケーションを含む) ハングル講座 II ハングル講座 III 実用ハングル講座 A 実用ハングル講座 B	兼任	講師	ハングル講座 I (コミュニケーションを含む) ハングル講座 II ハングル講座 III 実用ハングル講座 A 実用ハングル講座 B	兼任	講師	ハングル講座 I (コミュニケーションを含む) ハングル講座 II ハングル講座 III 実用ハングル講座 A 実用ハングル講座 B	兼任	講師	ハングル講座 I (コミュニケーションを含む) ハングル講座 II ハングル講座 III 実用ハングル講座 A 実用ハングル講座 B	兼任	講師	ハングル講座 I (コミュニケーションを含む) ハングル講座 II ハングル講座 III 実用ハングル講座 A 実用ハングル講座 B
兼任	講師	情報処理実習 情報処理応用実習												
兼任	講師	精神医学	兼任	教授	精神医学									
兼任	講師	哲学入門 ドイツ語 I (コミュニケーションを含む) ドイツ語 II ドイツ語 III	兼任	講師	哲学入門 ドイツ語 I (コミュニケーションを含む) ドイツ語 II ドイツ語 III	兼任	講師	哲学入門 ドイツ語 I (コミュニケーションを含む) ドイツ語 II ドイツ語 III	兼任	講師	哲学入門 ドイツ語 I (コミュニケーションを含む) ドイツ語 II ドイツ語 III	兼任	講師	哲学入門 ドイツ語 I (コミュニケーションを含む) ドイツ語 II ドイツ語 III
兼任	講師	社会学原論												
兼任	講師	スポーツ I	兼任	講師	担当教員の変更。他の兼任教員が担当。									
			兼任	講師	高橋 政行 (53) <平成27年4月> スポーツ I									担当教員の変更。他の兼任教員が担当。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)									
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅲ									
兼任	講師	ことばと表現 現代社会を見る眼	兼任	講師	担当教員の変更。他の兼任教員が担当。									
									兼任	講師	スポーツⅠ	兼任	講師	スポーツⅠ
兼任	講師	構造材料施工	兼任	講師	構造材料施工									
兼任	講師	キャリアデザインⅡ			担当教員の変更。他の兼任教員が担当。									
兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅲ									
兼任	講師	キャリアデザインⅡ	兼任	講師	キャリアデザインⅡ	兼任	講師	キャリアデザインⅡ	兼任	講師	担当教員の変更。他の兼任教員が担当。			
兼任	講師	高齢者福祉論	兼任	講師	高齢者福祉論									
兼任	講師	地域住環境計画	兼任	講師	地域住環境計画									
						兼任	講師	地域共創実学教育Ⅱ	兼任	講師	地域共創実学教育Ⅱ 地域共創実学教育Ⅲ	兼任	講師	地域共創実学教育Ⅱ 地域共創実学教育Ⅲ
兼任	講師	スポーツ施設マネジメント	兼任	講師	科目名とともに担当教員の変更。他の兼任教員が担当。									
兼任	講師	生涯スポーツ論	兼任	講師	生涯スポーツ論									
兼任	講師	災害解析基礎理論	兼任	講師	災害解析基礎理論									
兼任	講師	情報処理実習 情報処理応用実習	兼任	講師	情報処理実習	兼任	講師	情報処理実習	兼任	講師	情報処理実習	兼任	講師	担当教員の変更。他の兼任教員が担当。

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)		
		<就任(予定)年月>		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>		
		担当授業科目名		担当授業科目名			担当授業科目名						担当授業科目名		
			兼任 講師	情報処理実習			兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師
	兼任 講師	歴史学の基礎	兼任 講師	歴史学の基礎				兼任 講師		兼任 講師					
	兼任 講師	人文地理学	兼任 講師	人文地理学				兼任 講師		兼任 講師					
			兼任 講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ			兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師					
	兼任 講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任 講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ			兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師					
			兼任 講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ			兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師					
	兼任 講師	禪のこころ	兼任 講師	禪のこころ			兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師	兼任 講師					

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	災害概論	兼任	講師	災害概論	兼任	講師	災害概論	兼任	講師	災害概論	兼任	講師	災害概論
兼任	講師	災害ボランティア学	兼任	講師	災害ボランティア学	兼任	講師	災害ボランティア学	兼任	講師	災害ボランティア学	兼任	講師	災害ボランティア学
兼任	講師	スポーツ I	兼任	講師	スポーツ I	兼任	講師	スポーツ I	兼任	講師	スポーツ I	兼任	講師	スポーツ I
兼任	講師	放射線医学	兼任	講師	放射線医学	兼任	講師	放射線医学	兼任	講師	放射線医学	兼任	講師	放射線医学
												兼任	講師	キャリアデザインⅢ
兼任	講師	英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D 実用英語E 実用英語F	兼任	講師	英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D 実用英語E 実用英語F	兼任	講師	実用英語E 実用英語F	兼任	講師	実用英語E 実用英語F			担当教員の変更。他の兼任教員が担当。
兼任	講師	社会貢献概論 開発教育学 プロジェクト実習	兼任	講師	社会貢献概論 開発教育学 プロジェクト実習	兼任	講師	社会貢献概論 開発教育学 プロジェクト実習	兼任	講師	社会貢献概論 開発教育学 プロジェクト実習	兼任	講師	社会貢献概論 開発教育学 プロジェクト実習
兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅲ
									兼任	講師	地域活性化マネジメント論	兼任	講師	地域活性化マネジメント論
兼任	講師	キャリアデザインⅡ	兼任	講師	キャリアデザインⅡ			担当教員の変更。他の兼任教員が担当。						
			兼任	講師	健康科学	兼任	講師	健康科学			担当教員の変更。他の兼任教員が担当。			
兼任	講師	減災学入門 減災学 建築の安全 地震工学 地域の安全 再額危機管理	兼任	講師	減災学入門 減災学 建築の安全 地震工学 地域の安全 再額危機管理	兼任	講師	減災学入門 減災学 建築の安全 地震工学 地域の安全 再額危機管理	兼任	講師	減災学入門 減災学 建築の安全 地震工学 地域の安全 再額危機管理	兼任	講師	減災学入門 減災学 建築の安全 地震工学 地域の安全 再額危機管理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)												
		<就任(予定)年月>												
		担当授業科目名												
兼任	講師	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 実用日本語A 実用日本語B			担当教員の変更。他の兼任教員が担当。									
												兼任	講師	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 実用日本語A 実用日本語B
兼任	講師	ツーリズム論 旅行業実務Ⅰ 旅行業実務Ⅱ 環境ボランティア論	兼任	講師	環境ボランティア論	兼任	講師	環境ボランティア論	兼任	講師	環境ボランティア論			担当教員の変更。他の兼任教員が担当。
			兼任	講師	ツーリズム論 旅行業実務Ⅰ 旅行業実務Ⅱ									
兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅲ									
						兼任	講師	地域活性化マネジメント論						担当教員の変更。他の兼任教員が担当。
兼任	講師	臨床医学各論Ⅱ	兼任	講師	臨床医学各論Ⅱ									
兼任	講師	スポーツⅠ										兼任	講師	スポーツ施設管理論
			兼任	講師	スポーツⅠ	兼任	講師	スポーツⅠ	兼任	講師	スポーツⅠ	兼任	講師	スポーツⅠ スポーツコーチング論
兼任	講師	ドイツ語Ⅰ(コミュニケーションを含む) ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ												
						兼任	講師	地域防災論Ⅰ	兼任	講師	地域防災論Ⅰ			担当教員の変更。他の兼任教員が担当。
			兼任	講師	健康科学									担当教員が急逝。他の兼任教員が担当。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	観光地理Ⅰ 観光地理Ⅱ	兼任	講師	観光地理Ⅰ 観光地理Ⅱ	兼任	講師	観光地理Ⅰ 観光地理Ⅱ						
兼任	講師	ソーシャルメディア論 ネットワークコミュニケーション論	兼任	講師	ソーシャルメディア論 ネットワークコミュニケーション論	兼任	講師	ソーシャルメディア論 ネットワークコミュニケーション論	兼任	講師	ソーシャルメディア論 ネットワークコミュニケーション論	兼任	講師	ソーシャルメディア論 ネットワークコミュニケーション論
兼任	講師	生涯スポーツ論	兼任	講師	生涯スポーツ論	兼任	講師	生涯スポーツ論	兼任	講師	生涯スポーツ論			担当教員の変更。他の兼任教員が担当。
兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅰ(コミュニケーションを含む) 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	英語Ⅲ
兼任	講師	英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D 実用英語E 実用英語F	兼任	講師	英語Ⅲ 実用英語A 実用英語B 実用英語C 実用英語D 実用英語E 実用英語F	兼任	講師	実用英語E 実用英語F	兼任	講師	実用英語E 実用英語F	兼任	講師	英語Ⅲ
兼任	講師	疾病治療論Ⅳ(小児)	兼任	講師	疾病治療論Ⅳ(小児)			担当教員の変更。他の兼任教員が担当。						
						兼任	講師	疾病治療論Ⅳ(小児)	兼任	講師	疾病治療論Ⅳ(小児)	兼任	講師	疾病治療論Ⅳ(小児)
									兼任	講師	東北の地域課題	兼任	講師	東北の地域課題
兼任	講師	東洋史概説	兼任	講師	東洋史概説	兼任	講師	東洋史概説	兼任	講師	東洋史概説	兼任	講師	東洋史概説

- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- ・ その上で、**既設時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

省 略

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	5
10	
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
7	2	1	0	10	6	3	1	1	11	6	3	1	1	11
(7)	(2)	(1)	0	(10)						[△1]	[1]	[0]	[1]	[1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{10} = \boxed{110} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{1}{11} = \boxed{9.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
			必修	選択			自由	必修	選択	自由	計
1		該当なし	必修								
			選択								
			自由								
2		該当なし	必修								
			選択								
			自由								
合計（A）						後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
該当なし	人		必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
			選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
			自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
			計	〇〇	科目	計	〇〇	科目	計	〇〇	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
			必修	選択			自由	必修	選択	自由	計
1		該当なし	必修								
			選択								
			自由								
2		該当なし	必修								
			選択								
			自由								
合計（F）						後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
該当なし	人		必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
			選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
			自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
該当なし	人		必修	#VALUE!	科目	必修	#####	科目	必修	#####	科目
			選択	#VALUE!	科目	選択	#####	科目	選択	#####	科目
			自由	#VALUE!	科目	自由	#####	科目	自由	#####	科目
			計	#VALUE!	科目	計	#####	科目	計	#####	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{\text{該当なし}}{0} = \boxed{\text{\#VALUE!}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授		必修	リエゾンゼミⅠ（基礎演習）	①	H28.3.31付け70歳で定年退職（30）				
			必修	リエゾンゼミⅡ（専門基礎演習）	①					
			必修	リエゾンゼミⅢ（福祉行政演習Ⅰ）	①					
			必修	リエゾンゼミⅣ（福祉行政演習Ⅱ）	①					
			必修	経済学の基礎	①					
			選択	経済原論（国際経済を含む）	①					
			選択	社会調査法（社会調査統計を含む）	①					
			選択	卒業論文	①					
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
1	人		必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
			選択	3 科目	選択	3 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
			自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
			計	8 科目	計	8 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>定年のため退職教員が1名あったが、リエゾンゼミに関しては新たな専任教員を配置したり、他の専任教員が担当したりして学生の履修に不利益な影響を及ぼさないような配慮を行っている。また、その他の科目に関しても、現在の専任教員の中で担当している。これらの点に関しては、各種ガイダンスにおいて学生への周知は行われており、新たな専任教員に関しては、ガイダンス及び1年生に対しては、教員が一同に関して行う学科教員紹介において周知されている。</p>
---

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (28年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)			

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<総合福祉学部 福祉行政学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時計画より変更のあったものに該当する事項はなし。</p>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学では、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究等の実施に関する対応として「教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組」（FD：ファカルティ・ディベロップメント）を行っている。本学は平成13年4月1日にFD委員会を発足させ、定期的に全学FDセミナーを開催している。また、学科等FD委員会も発足させるとともに学科毎FDセミナーも開催している。テーマは単に授業内容の改善、方法のみではなく、心理学、情報学、教育学、医学、福祉学、社会貢献学などの分野による、倫理性、知的誠実性を含めた提言など、多岐に渡っている。高度な専門職としての大学教員は、研究などの専門性は求められているが、さらに、「多様な職業人の要請」、「社会貢献」なども大学の重要なミッションである。そこで、本学では社会貢献に力を入れて取り組むとともに、教員の教育業績や社会貢献を積極的に評価している。</p> <p>なお、本学における授業内容方法の改善を図るための組織的な取組（FD活動）は、「FD委員会」がFDに関する施策の検討をし、教務部内に設置されている「教育開発支援室」がFDに関する施策の実施を行う実働機関に位置付けられている。（FD委員会規程及び学科等FD委員会規程は別紙1、別紙2の通りである）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>FD委員会は、①大学の役職にある教員（若干名）、②FDに携わる教職員、③各学科及び各研究科の長の推薦する教員、④その他、必要と認められる者から構成されている。そして、委員長は副学長とし、議長となる。現在（平成30年5月）は、計36名（教員30名、職員6名）の教職員が委員となっている。このような構成員及び出席者により、平成29年～平成30年4月末日において、平成29年3月23日及び5月24日、平成30年4月25日の計3回開催した。</p> <p>また、学科等FD委員会は、委員会は、各学科におけるFD活動を円滑に行うこと目的として、各学科長が必要に応じて設置し、学科長が責任をもって運営することとされており、①FD委員のうち、学科に所属する教員、②学科に所属する教員のうちから、学科長が学科等FD委員として指名した者から構成される。福祉行政学科においては、年度初めに学科FDの計画を立て、毎年2回程度FDセミナーを開催している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD委員会は、主に以下の事項を審議している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教育能力向上及び教育改善に資する教育プログラム又は教育システムの企画及び開発</li> <li>(2) 研修会の開催</li> <li>(3) 授業内容、方法の改善、向上</li> <li>(4) 教員間での教育能力向上及び教育改善に関する認識の共有</li> <li>(5) 教員の教育、研究、社会貢献、管理運営等に関する資質向上</li> <li>(6) 教員の教育能力向上及び教育改善のための調査並びに学習効果の把握等の実施の統括とその分析とその分析を踏まえた教育等の開発、改善及び向上</li> <li>(7) 教育業績評価委員会に審査された教員に対する教育能力の支援</li> <li>(8) FDの専門家の養成</li> <li>(9) 教育等の改善に関する連携支援</li> <li>(10) 教育情報分析に関する連携支援</li> <li>(11) 成績評価及び学修成果に関する連携支援</li> <li>(12) ICTの教育活用及びeラーニングに関する連携支援</li> <li>(13) 教育開発に関する連携支援</li> </ol>
--

- (14) 教員個人の自己点検・評価と業績評価の項目検討に関する連携支援
- (15) アカデミック・ポートフォリオ（ティ칭ングを含む）に関する連携支援
- (16) 職員の職能開発及び資質向上に関する連携支援
- (17) 学科等が行う学修成果の把握・評価に対する連携支援
- (18) 感性福祉研究所との共同による教育能力向上の研究
- (19) 関連福祉施設との共同による教育能力向上の研究
- (20) IRセンターとの共同による教育能力向上の研究
- (21) その他、教育能力向上のために必要と認められる事項

また、学科等FD委員会は、学科長のもと、次に掲げる学科のFDに関する審議（業務）を行う。

- (1) FDセミナー
- (2) 授業参観（授業公開を含む）
- (3) 内部質保証を目的とした各種調査の実施及び学科会議での結果の報告等
- (4) 学修ポートフォリオお開発及び活用等
- (5) 学修成果の把握及び評価並びにその方法及び指標の開発等
- (6) FDの教育及び研究への活用等
- (7) FDの検証及び改善等
- (8) その他、学科のFDに関する事項

## ② 実施状況

### a 実施内容

FD委員会規程においては、上述したような審議事項等が定められており、FD活動に関して包括的な議論を進めているが、その都度、焦点を絞って議論と活動を行うことが教育効果に実効性があると考えられるため、具体的には、主に以下の事項を実施している。

- ・FDセミナー（全学、学科別研修会）の実施
- ・学生アンケート
- ・教員アンケート
- ・卒業生アンケート
- ・授業評価
- ・GPA
- ・追跡調査
- ・学修成果の把握
- ・中退防止の検証
- ・学内教員間相互授業参観・授業公開
- ・学外者の意見聴取
- ・学生からの意見聴取
- ・マイ授業ビデオ撮影（自己評価・相互評価）
- ・FDセミナー公開Q&A
- ・ベストティーチャー等
- ・志願者動向分析
- ・初年次教育の検証
- ・キャリア教育の検証
- ・学修成果の把握
- ・3つのポリシーに照らした取り組みの適切性の検証

### b 実施方法

#### (1) FDセミナーの実施

全学的には、定期的なFDセミナーを企画し、実施している。FDセミナーはビデオ撮影して教職員に動画公開しており、欠席の教員も含め、全教員がFDセミナーに参加できる環境を整備している。同時に資料も公開している。FDセミナーは、大学院生にも参加を勧めており、プレFDを兼ねている。また、職員の参加も認めており、職員の資質向上にも役立っている。（<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/plan.html>）

#### (2) 学生アンケート

本学では、各種学生アンケートを実施し、PDCA（Plan-Do-Check-Action）に基づく教育改善サイクルに役立てている。具体的には「入学時アンケート」「学修活動アンケート」「学生生活アンケート」「進路・キャリアアンケート」「リエゾンゼミ教育効果アンケート」「卒業時アンケート」などである。これらは、集計分析をした上で次年度の教育内容の改善に活かしている。なお、これらの結果については、ホームページ上に公開されている。

（[http://www.tfu.ac.jp/fd/action/questionnaire\\_student.html](http://www.tfu.ac.jp/fd/action/questionnaire_student.html)）

#### (3) 教員アンケート

本学では、各種教員アンケートを実施し、PDCA（Plan-Do-Check-Action）に基づく教育改善サイクルに役立てている。また、社会に貢献すると思われる分析と知見は公開している。具体的には、「教員間相互授業参観・授業公開に関するアンケート」「FDに関するアンケート」「ICT等の教育活用に関するアンケート」「授業等に関するアンケート」を実施している。2016年度及び2017年度の結果が公表されている。

（[https://www.tfu.ac.jp/fd/action/questionnaire\\_teacher.html](https://www.tfu.ac.jp/fd/action/questionnaire_teacher.html)）

#### (4) 卒業生アンケート

IRセンターとの共同で「卒業生アンケート」を実施している。アンケート内容としては、「在学中の経験と卒業後の関連」、「在学中の学内施設の利用と卒業後の関連」、「在学中の学び」、「回答者の調査時の大学へ対する思い」、「現在大切にしていること」などを大項目として、中項目、小項目を設け質問している。これらの結果に対しては、大学としてのコメントを付けて公開している。直近の調査としては、2015年度から2016年度の間に東北福祉大学を卒業した通学の正科生に対して、ホームページ上調査への協力を呼びかけを行った上で、Googleのサービスを利用してインターネット上でアンケートの回答を募った。（[https://www.tfu.ac.jp/fd/action/questionnaire\\_graduate.html](https://www.tfu.ac.jp/fd/action/questionnaire_graduate.html)）

(5) 授業評価

後掲の「③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況」において詳述するため、ここでは省略する。

(6) GPAの検証

本学では、GPAを活用し厳格な成績評価による質保証努めている。GPAの成績評価の分布および平均値について、社会的説明責任、教員間の成績評価基準の平準化とさらなる適正な成績評価、学生の成績の状況に応じた学習支援、学生自らの成績の相対的位置の把握と向上を目的としている。現在、2014年度～2016年度のGPAの分布を公開している。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/gpa.html>)

(7) 追跡調査

本学は、入学者選抜方法ごとに入学後の成績や活動実績、留年・中退率、卒業後の進路等について調査を行い、入学者選抜方法の妥当性の検証を行っている。現在、2011年度～2014年度および2012年度～2015年度、2013年度～2016年度入学者の追跡調査の結果が表示されているが、教職員のみ公開に留めている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/followup.html>)

(8) 学修成果の把握

本学は、学修前（1年次入学時）と学修後（4年次卒業時）の双方の時点において、学修ポートフォリオを用いて士力と専門性の修得について把握することで、本学における教育・学習の検証を行っている。本学教職員と学生のみが閲覧可能となっている。（<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/grasp.html>）

(9) 中退防止の検証

本学は、中退の防止に積極的に取り組んできており、本学の中退率は、1年中退率、卒業までの中退率とも、私立大学の全国平均に比べて、非常に低い数字になっている。また、中退等の調査により中退防止の検証を行っており、中退防止の強化に努めている。現在、2011年度～2016年度中退等防止調査結果を公開している。

([https://www.tfu.ac.jp/fd/action/dropout\\_prevention.html](https://www.tfu.ac.jp/fd/action/dropout_prevention.html))

(10) 学内教員間相互授業参観・授業公開

本学における授業改善への取り組みの一環として、教員間での授業の相互聴講を実施している。授業設計のコツや展開の方法などテクニカルな要素と同時に、授業運営上の問題となっている事柄についての情報も共有し、解決策を見出すことで授業改善に役立っている。たとえば、福祉行政学科においては、必修科目でありオムニバスの科目である「福祉行政総論」や「リエゾンゼミⅠ（基礎演習）」は学科教員の相互授業参観の場となっている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/attend.html>)

(11) 学外者の意見聴取

本学では、卒業生のみならず学外者からの意見聴取として、企業、地元産業界、業界別団体、地方自治体、専門職の職能団体等とともに、高校や高大連携関係団体等より意見を聴取し、入試や入学前教育、初年次教育の改善に役立っている。また、入学時アンケートにより、本学の学生募集広報活動や入試、入学前教育に対する評価・意見を聴取し、改善に役立っている。（<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/company.html>）

(12) 学生からの意見聴取

本学では、各学科所属の学生より、意見を聴取し、授業や教育プログラムの改善に役立っている。平成28年度の学生意見聴取が本学ホームページ上で掲示されているが、現在は教職員のみ閲覧となっている。

([https://www.tfu.ac.jp/fd/action/hearing\\_student.html](https://www.tfu.ac.jp/fd/action/hearing_student.html))

(13) マイ授業ビデオ撮影（自己評価・相互評価）

自らの授業をビデオ撮影して視聴することで、授業の自己評価をすることができるため、本学では授業の授業撮影をすることができる。同時に、教員間あるいは学科等FDで相互評価に活用することができる。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/video.html>)

(14) FDセミナー公開Q&A

学内のFDセミナー終了後にセミナー講師に対するご質問、またはFDセミナーに関するご質問をQ&Aとして受け付けている。（<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/qa.html>）

(15) ベストティーチャー等

本学は、①教育の質に関して著しく優れた業績を挙げた者、②学生の成長又は学生の学修成果に関して著しく優れた業績を挙げた者、③教育の質の向上に関して著しく優れた業績を挙げた者、④教育の質の向上についての研究に関して著しく優れた業績を挙げた者をベストティーチャーとして表彰し、副賞を授与している。また、グッドティーチャーやグッドレクチャーも表彰している。（[https://www.tfu.ac.jp/fd/action/best\\_teacher.html](https://www.tfu.ac.jp/fd/action/best_teacher.html)）

(16) 志願者動向分析

本学は、一般入試・推薦入試・A0入試の志願者動向の分析に取り組んでおり、これからの社会に求められる人材の育成を踏まえ、志願者のニーズに配慮した適切な学生募集と教育の質を保証する適正な定員管理に努めている。現在は2015年～2017年度の分析結果が公開されている。（[https://www.tfu.ac.jp/fd/action/applicant\\_trend.html](https://www.tfu.ac.jp/fd/action/applicant_trend.html)）

(17) 初年次教育の検証

本学では、1996年度より少人数クラスごとの1年生ゼミ「人間基礎論」を導入し、早くから初年次教育に取り組んできた。そして、士力やキャリア教育、高大接続の重視を受けて、2011年度より「リエゾンゼミ」（現在は「リエゾンゼミⅠ」）に改称し、大学生活への適応、汎用的スキルの修得、地域や社会とのつながり、専門へのつながり、キャリア形成を目的とした初年次教育に取り組んでいる。その教育効果の検証については、2011年度より学生アンケートを通して行っているが、よりきめこまかい検証として2015年度より学修ポートフォリオ（UNIVERSAL PASSPORTのマイステップ）も併用し、改善・向上に取り組んでいる。2016年度の結果が公表されている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/liaison.html>)

(18) キャリア教育の検証

本学のキャリア教育では、自らかかわる（主体性）、自ら考える・気づく（課題発見能力など）、自らアクションを起こす（実行力）ことを目標にし、そのために「リエゾン型キャリア教育」を開発した。そこでは、「リエゾンゼミ」「キャンパスライフ入門」「キャリアデザイン」などの講義・演習科目を通して1年次から4年次まで段階的・連続的に学びを深めるとともに、インターンシップや福祉ボランティア活動、キャリア支援講座などの実践的科目を通して学びを深める。また、就業力（卒業後、社会的・職業的自立を図るために必要な能力）を踏まえた学修ポートフォリオ「キャリア形成判定」を開発し、活用している。その教育効果の検証については、2011年度より学生アンケートを通して行っていますが、よりきめこまかい検証として2016年度より学修ポートフォリオ（UNIVERSAL PASSPORTのマイステップ）も併用している。現在、2016年度キャリア形成（就業力の達成度）の結果が公表されている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/career.html>)

#### (19) 学修成果の把握

本学では、2013年に「学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）」を定め、学修成果の把握・評価に取り組んでいる。特に、「学士力」「卒業認定・学位授与の方針における学生が身に付けるべき資質・能力」「人間力」「社会力」を把握している。現在は、2016年度の結果が公開されている。

(<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/assessment.html>)

#### (20) 3つのポリシーの検証

本学では、3つのポリシーの検証について、2015年度より全学的に学修ポートフォリオ（UNIVERSAL PASSPORTのマイステップ）のデータを活用して行っており、その結果、入学者受入れの方針に合う学生が入学し、教育課程編成・実施の方針に基づいて学習に取り組み、学位授与の方針における学生が身に付けるべき資質・能力を高めていることが示されている。現在は、2017年度の結果が公開されている。（<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/3policy.html>）

#### (21) SD研修会の開催とFDとの連携

本学では職員を中心としてSD研修会を開催しているが、職員だけではなくテーマによってはFD研修会と連携をとりながら開催しており、教職員の情報の共有化を図っている。

##### c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD関連施策の実施状況は、上記「b 実施方法」で記した通りである。これらのなかで研修会（FDセミナー）の具体的な取り組みは、FD委員会で検討・実施されるが、学科FDセミナーは、各学科でのFD担当者が主体となって実施される。平成29年度の全学FDセミナー（研修会）は、以下のテーマにおいて実施された。の実施に際しての参加状況は、各セミナー（研修会）につき80名から153名の参加を得て実施された。

4月19日（「営業秘密について」「コンプライアンス教育」：SD研修会との共催）、5月24日（「リエゾンゼミⅠ研修」「ブックリーディング」「レポート指導の仕方」）、6月21日（「リエゾンゼミⅠ研修」「プレゼンの指導の仕方」）、7月26日（「学生のメンタルヘルス」「障がい学生の理解と支援」）、9月20日（「アカデミックポートフォリオについて」）、10月11日（「新任教員等研修」「研究倫理について」）、11月29日（「キャリア形成支援について」「地域共創について」）、3月14日（「Edu Trackの活用法」「模擬授業（アクティブラーニングを含む）」）で各回約60名～130名の出席があった。

また、学科等FDセミナーは、大学院各研究科や通信教育部を含めて延べ33回開催された。そのうち、福祉行政学科においては、学科における必修科目「福祉行政総論」で実施したアンケートの結果を基にした報告（4月26日実施）と学科教育の効率化に向けた2017年度新入生の情報共有（11月29日実施）を行った（2018年も4月に実施）。いずれも、全専任教員の参加があった。（<https://www.tfu.ac.jp/fd/action/plan.html>）

さらに、学内SD研修会は、以下の通り開催している。4月19日（「営業秘密について」「コンプライアンス教育」）、6月30日（「3ポリシーに基づく自己点検・評価と内部質保証」「大学教育改革」）、7月10日（「ハラスメント」「学生相談・支援の基礎」）、7月19日（「大学設置に係る関係法令と手続き」）、7月26日（「学生のメンタルヘルス」「障がい学生の理解と支援」）、8月22日～25日（「一般職向け研修：主体性発揮研修」）、8月29日・30日（「指導監督職向け研修：目標管理研修」）、9月27日（「大学のグローバル化を考えるー多様性と共に生きる」）、1月26日（「よくわかる有給休暇」）であり、そのうち4月19日と7月26日はFD研修会との共同開催で有り、教職員一体となって情報共有化に努めた。参加者数は30名～112名であった。

なお、FDとSDをPDとして位置づけ、本学の取り組みとして「教育における向上・改善・開発の目標設定（PDCA）」「大学ポートレート」「大学教育の改革と教育研究の活性化の取組」「研究倫理教育・コンプライアンス教育」「ブレFD・新任教員FD」をホームページ上に公表している。（<https://www.tfu.ac.jp/fd/material/index.html>）

##### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各種FD活動及びSD活動との連携に関する有効性については、毎年、年度末に教員を対象にFDに関するアンケート調査を実施、その有効性を検証し、改善に努めている。その結果、回答者のうち、全学FDが教育力向上に「かなり役立った」が約3割、「少し役立った」が約6割であった。また、FDサイトについては約9割が閲覧し、情報共有に「かなり役立った」が約3割、「少し役立った」が約5割であった。この結果から、FDが教員の資質向上に有効であったことが示された。

また、年度初めに活動計画を立案し、前期終了時に進捗状況を確認し、PDCAサイクルによるFD活動に取り組んでいる。FD委員会の議事録、当該年度の目標と進捗状況、活動報告、FDアンケートの結果は教職員に公開し、FD委員会のFD活動が有効に機能しているかどうかを教職員が確認できるようにしている。さらに、教員の教育研究活動及び社会的な活動等については「教育・研究業績書」としてまとめ、ホームページにおいて公表している。

なお、大学としての各教員の教育力評価、研究活動評価、社会貢献や管理業務に関わる評価については、部長学科長会議を構成する者を中心とする「教育業績評価委員会」が設置されており、各種の評価を行っている。

さらに、個別的取組として、リエゾンゼミⅠ（1年次開講科目：全学必修）の教育効果については、入学時（リエゾンゼミⅡは2年次進級時）と比した学士力到達度・専門性・意欲の伸びを学科別に集計・分析され、この資料（結果）に基づき学科会議において授業改善の議論がなされ、次年度のシラバス作成に活かされている。また、卒業時アンケートにおいても、同様に4年間を通して、学士力到達度・専門性・意欲の伸びが学科別に集計され、学科の教育課程のあり方を再検討する際の参考資料となっている。これらの結果について、コメントを付けて公開している。そして、学生アンケートにおいては、それら内容を学科会議において共有するとともに、改善策等を議論している。

次に、入学時アンケートについては、「大学・学科志望順位」「入学後の学業に対する不安」「入学後の生活面での不安」「学内での相談相手」「卒業後の希望進路をと問うこと」によって、新入生への授業方法や学生相談の方針の改善にも活かしている。

授業評価アンケートについては、下記の③「a 実施の有無及び実施期間」及び「b 教員や学生への公開状況、方法等」に記載した通り、その結果を「授業レベル」（ミクロ）での改善の取り組み、「学科等レベル」（メゾ）及び「全学レベル」（マクロ）での組織的な教育力向上の取り組みへ結びつけている。2016年度後期分に関してみると、①シラバスを学修について見直すために活用する工夫をする。②学習内容・方法について、意欲的、主体的に取り組ませる（アクティブ・ラーニング）ための工夫をする。③「授業後の感想（コメントペーパー等）」や「オフィスアワー」などを活用し、質問に対するフィードバックを授業中やEduTrackなどで積極的に行う。などが共通の課題としておげられ、共有化が図られた。さらに、福祉行政学科所属教員においては、「シラバスの内容」「わかりやすさ」「目標達成度」の項目が他学科と比較して若干低位となっているため、改善の努力が必要と認識された。

なお、本学の中途退学率は比較的低位に推移しているとはいえ、毎年ある程度の中途退学者を出している現状に鑑み、教務部、キャリアセンター、学生生活支援センター、入学センター、ウエルネス支援室等関係部署からなる委員会を立ち上げて、継続的に対策を検討を行っている。現在、本学での中退率は1.5%前後であり、福祉行政学科においては、これまでに5名程度（通信教育部への転籍及び転科を含む）の中退者にとどまっている。

### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

#### a 実施の有無及び実施時期

本学では授業評価を行い、結果を集計・分析するとともに担当教員および受講学生にフィードバックしている。  
具体的には、授業評価の方法は以下の通りである。

- ・実施学部・学科＝全学部・全研究科において実施する。
- ・実施授業科目＝原則として全授業について実施する。
- ・実施回数・時期＝学期ごとに1回、11回目から15回目に実施する。
- ・配付・回収＝WEB方式（UNIPA）で、無記名で実施する。
- ・評価項目＝共通項目と科目群項目、学科オリジナル項目により構成する。共通項目は、授業改善目的の3つの側面と教員・学生の関わりに基づき、基本属性、受講学生の取り組み方、教員の取り組み方（授業姿勢、授業スキルなど）、授業を受けた結果（学修成果など）、良かった点と改善して欲しい点・要望より構成される。
- ・結果のフィードバック＝授業ごとの結果について、回答期間終了後に、受講学生（回答者）と担当教員にフィードバックする。
- ・実施結果の公表及び授業レベルでの改善の取り組み＝下記の「b 教員や学生への公開状況、方法等」にて記載するためにここでは省略する。
- ・学科レベルでの組織的な教育向上の取り組み＝授業評価の高い教育マインドや授業スキルについて、学科等FDを通じて共有することになる。授業評価の低い教員は、学科長等の助言・指導を受け、「授業における向上・改善・開発（PDCA）」に取り組むことになる。
- ・全学レベルでの組織的な教育向上の取り組み＝授業評価優れて高い教員は、ベストティーチャーとして表彰され、全学FDにおいて模擬講義等を行うなど、優れた教育マインドや授業スキルについてFD等で共有することになる。
- ・授業評価のPDCA＝教員アンケートにより、授業評価についての評価と要望を把握して、授業評価の改善に努めるものと重要な取り組みと考えている。

#### b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果は、年に1度、ホームページ上で全学、総合基礎教育課程・学科・研究科専攻等ごとの基幹的科目の集計結果及び個々の結果について公開することになる。担当教員は、授業評価の結果に基づいて、次年度の授業の改善に取り組む。担当教員は、改善について「授業における向上・改善・開発（PDCA）」に記入し、回答期間終了後1か月以内に受講学生に公開される。同時に、次年度の授業の受講学生にも公開されることになっている。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

総合福祉学部福祉行政学科は、福祉の心をもち、地域の多様な課題を行政面から解決する視点を身につけるため、福祉の学びを基盤に据え、政治・経済・法律・マネジメント・防災などの知識を幅広く学び、将来、地方公共団体や公共性の強い企業などで活躍できる人材を育成することを目的として設置された。そして、本学科では、地方自治の本旨に則り、地域社会、地域の福祉に貢献する高い志と強い責任感・倫理観を持ち、地域の安全・安心、地域住民の抱える様々なリスクへの対応、官民協働マネジメント、国際社会、高齢社会への対応といった現代の地域の諸課題に主体的に対応できる幅広い基礎能力とともに、専門分野では個々の学生が興味関心に応じて学んでいくことを内容としていた。

開設年度では、総合基礎教育科目や学科入門科目を中心に展開され、2年次以降の学科専門基礎科目及び専門基幹科目に段階的に繋ぐことができるよう支援をした。また、本学においては、全学必修科目として「リエゾンゼミⅠ（基礎演習）」が配置されているが、福祉行政学科においてはそのプログラムの中で、アクティブラーニングはもちろんのこと、「将来の進路について動機付け」や「2年次以降に学ぶ専門教育の体験講義」（法律や経済系）、「行政関係に内定した学生の体験談」などを取り入、学びの深化やキャリア形成を意識した教育を実践し、完成年度を迎えた現在でも継続している。2年次に配当されている学科必修科目「福祉行政総論」では、必ずアンケートをとり学生のニーズを把握し、学科FDにおいて情報を共有してきた。これらを踏まえたこれまでの授業内容は、ほぼ目標が達成されている。

開設3年目には、建学の精神（行学一如）をより具体化するため科目として「実学臨床教育Ⅰ～Ⅳ」、「海・山・里イノベーションⅠ～Ⅳ」をそれぞれ配置して、本学科がめざす人材育成の強化に努めた。また、初年次教育の一層の充実を図るために、全学的に「キャンパスライフ入門」が総合基礎教育課程の中で必修として導入されたために、本学科においても配置した。そして、開設4年目には仕事の理解を深化させる目的で、関連科目として「ビジネスの基本」「地域と仕事」を設置した。また、副専攻の科目を改組するなどの取り組みがあった。

教員人事としては、定年を延長している教員が1名いるが、平成30年3月末をもって1名の教員が定年退職した。退職教員の担当専門科目は専任教員（准教授）が担当するため教育に支障はない（定年延長の規程は「本学の就業規則」を別紙3として添付した）。さらに、平成30年度から講師1名及び助教を1名学科専任として配置して、教育課程の充実を図った。

なお、開設以来本学科は志願者数を増やし続けている。このことは本学科の設置の趣旨や目的が徐々に周知されてきた証ともいえる。また、完成年度を迎えて一部修正があるとはいえ教育課程も順調に進捗しており、4年目以降においても諸科目の順当な実施に努めたい。今後も入試広報（ホームページや高等学校訪問、個別説明会、オープンキャンパス等）や高等学校での模擬授業などを通じて、福祉行政学科の設置の目的・意義を周知させ、志願者数の拡大に努めるとともに、教育課程を堅持し学科がめざす人材育成に努めたい。

いずれにしても設置の趣旨・目的の達成状況は、完成年度を終了していないが現段階においてほぼ満足できるものである。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年6月1日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成30年6月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

本学は、2016年度に学校教育法に定める認証評価について文部科学大臣の認証を受けた（財）大学基準協会による大学評価（認証評価）を受け、評価の結果「大学基準に適合している」と認定された。認定機関は2017年4月から2014年3月31日までである。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 ( 有 ・ 無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 2018年 10月 1日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

## ○FD 委員会規程

## (設 置)

第 1 条 本学に、FD (Faculty Development) 委員会 (以下「委員会」という。) を置く。

## (目 的)

第 2 条 委員会は、教員の教育能力等の資質向上を組織的かつ多面的に支援することを目的とする。

## (組 織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 大学の役職にある教職員 (若干名)
  - (2) FD に携わる教職員
  - (3) 各学科及び各研究科専攻の長の推薦する教員
  - (4) その他、必要と認められる者
- 2 前項第 3 号の教員は、原則として教授又は准教授とする。
- 3 前 2 項の委員は、部長学科長会議を経て、学長が委嘱する。
- 4 その他必要あるときは、別に関係者をオブザーバーとして出席させることができる。

## (委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、委員長は、副学長とし、議長となる。

## (任 期)

第 5 条 第 3 条第 1 項第 3 号及び第 4 号に掲げる委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

## (業 務)

第 6 条 委員会は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 教育能力向上及び教育改善に資する教育プログラム又は教育システムの企画及び開発
- (2) 研修会の開催
- (3) 授業内容・方法の改善及び向上
- (4) 教員間での教育能力向上及び教育改善に関する認識の共有

- (5) 教員の教育、研究、社会貢献、大学運営等に関する資質向上
- (6) 教員の教育能力向上、教育改善のための調査並びに検証及び学修成果の把握等の実施の統括とその分析を踏まえた教育等の開発、改善及び向上
- (7) 教育業績評価委員会に審査された教員に対する教育能力の支援
- (8) FDの専門家の養成
- (9) 教育等の改善に関する連携支援
- (10) 教育情報分析に関する連携支援
- (11) 成績評価に関する連携支援
- (12) ICTの教育活用及びeラーニングに関する連携支援
- (13) 教育開発に関する連携支援
- (14) 教員個人の自己点検・評価に関する連携支援
- (15) アカデミック・ポートフォリオ(ティーチング・ポートフォリオを含む)に関する連携支援
- (16) 職員の職能開発及び資質向上に関する連携支援
- (17) 感性福祉研究所との共同による教育能力向上の研究
- (18) 関連福祉施設との共同による教育能力向上の研究
- (19) IRセンターとの共同による教育能力向上の研究
- (20) その他、教育能力等の資質向上のために必要と認められる事項  
(活動の評価)

第7条 委員会の活動は、大学の自己評価として報告書に掲載する。

(小委員会・専門委員会)

第8条 委員会において必要あるときは、小委員会・専門委員会を設けることができる。

(事務)

第9条 委員会の事務は、教務部教務課が行う。

(補則)

第10条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附則

- 1 この規程は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、平成18年9月1日から一部改正施行する。

- 3 この規程は、平成22年4月1日から一部改正施行する。
- 4 この規程は、平成27年4月1日から一部改正施行する。
- 5 この規程は、平成28年4月1日から一部改正施行する。
- 6 この規程は、平成28年10月1日から一部改正施行する。
- 7 この規程は、平成29年4月1日から一部改正施行する。

## ○学科等 F D 委員会規程

(趣 旨)

第 1 条 この規程は、「学科会議規程」第 8 条の規定に基づき設置する学科等 F D 委員会の運営に関する事項を定める。

(設置等)

第 2 条 学科等 F D 委員会は、各学科における F D 活動を円滑に行うことを目的として、各学科長が必要に応じて設置し、学科長が責任をもって運営する。

(構成員)

第 3 条 学科等 F D 委員会は、次に掲げる教員をもって構成する。

- (1) F D 委員のうち、学科に所属する教員
- (2) 学科に所属する教員のうちから、学科長が学科等 F D 委員として指名した者

(業 務)

第 4 条 学科等 F D 委員会は、学科長のもと、次に掲げる学科の F D に関する業務を行う。

- (1) F D セミナー
- (2) 授業参観 (授業公開を含む)
- (3) 内部質保証を目的とした各種調査の実施及び学科会議での結果の報告等
- (4) 学修ポートフォリオの開発及び活用等
- (5) 学修成果の把握及び評価等並びにその方法及び指標の開発等
- (6) F D の教育及び研究への活用等
- (7) F D の検証及び改善等
- (8) その他、学科の F D に関する事項

(同一学部内での連携・協力)

第 5 条 同じ学部内の学科等 F D 委員会は、必要に応じて連携及び協力を行う。

(研究科専攻との連携・協力)

第 6 条 学科等 F D 委員会は、必要に応じて学科と接続する大学院研究科専攻と連携及び協力を行う。

附 則

- 1 この規程は、平成 28 年 10 月 1 日から施行する。

週間以内に学長等に対して意義の申し立てをすることができる。

## 第10章 休職及び退職

### 第1節 休 職

(休職の理由)

第71条 次の各号の一に該当する教職員は、一定期間に限り休職とすることができる。

- (1) 業務外の傷病により引続き6ヵ月以上欠勤したとき。
- (2) やむを得ない理由により引続き1ヵ月以上欠勤したとき。
- (3) 公職に就任し、学園の正常な業務に従事できないとき。
- (4) その他必要と認められるとき。

2 教員が国外及び国内留学したときは、休職として扱わない。ただし、その留学の期間が1年を超えるときは、休職とする。

(休職の期間)

第72条 休職の期間は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 前条第1項第1号の場合は、1年。ただし、本人の勤続年数、勤務年数によって延長することができる。
- (2) 前条第1項第2号の場合は、3ヵ月
- (3) 前条第1項第3号及び第4号の場合は、その都度決定する期間
- (4) 前条第2項の場合は、1年を超えて留学を承認された期間

(休職中の給与)

第73条 休職中の教職員の給与は、次の各号に掲げる期間に応じ、当該各号に掲げる額を支給する。

- (1) 休職期間が3ヵ月に及ぶまで 基本給の全額
- (2) 休職期間が3ヵ月を超え6ヵ月に及ぶまで 基本給の3分の2
- (3) 休職期間が6ヵ月を超え1年に及ぶまで 基本給の2分の1
- (4) 休職期間が1年を超え2年に及ぶまで 基本給の3分の1

### 第2節 退 職

(定 年)

第74条 教職員の定年は、次に掲げるとおりとする。(昭和57年から適用)

- (1) 教員、医師 満70歳
- (2) 前号以外の職員 満65歳

2 定年による退職日は、定年に達した日以後における最初の3月31日までの日とす

る。

(退職)

第75条 教職員は、次の各号のいずれかに該当するときは、教職員としての身分を失う。(以下「退職」という。)

- (1) 自己都合により退職を申し出て承認されたとき。
- (2) 死亡したとき。
- (3) 雇用期間のある場合において、その期間が満了したとき。
- (4) 第71条第1項第1号及び第2号の理由により休職期間が満了したとき。
- (5) 第71条第1項第4号の理由により休職期間が満了したとき。
- (6) 前条の規定により定年に達したとき。

2 前項の規定にかかわらず、前項第3号、第5号及び第6条の規定により退職することとなる場合において、学長が業務上特に必要と認めたときは、引続いて勤務させることがある。ただし、学長が定める引続いて勤務させる期間は当該教職員の定年退職日又は期間満了日(有期労働契約を締結した教員・医師の70歳到達日、有期労働契約を締結した職員の65歳到達日以後における最初の3月31日)の翌日から起算して原則3年を超えることはない。

(自己都合による退職手続)

第76条 教職員は、自己都合により退職しようとするときは、退職を予定する日の30日前までに、学長等に退職願を提出しなければならない。

2 教職員は、退職願を提出した後においても、退職予定日までは、引き続き職務に従事しなければならない。ただし、退職願を提出し30日を経過したときは、この限りではない。

(退職時の事務引継)

第77条 教職員は、第75条第1項第1号、第3号及び第6号により退職するときは、次に掲げる事項を記述した事務引継書を作成し、関係書類及び物品等を添え、後任者又は直属の上司に引き継ぐとともに、その内容について所属長を経て学長等に報告しなければならない。

- (1) 担当していた業務の内容
- (2) 担当業務の未処理及び懸案事項と処理方針
- (3) 担当業務等に対する意見
- (4) その他必要事項